

OKURA

2020年12月期 決算説明資料



大倉工業株式会社

2021年2月24日

代表取締役社長執行役員
神田 進

CONTENTS

- 01. 当社の概要
- 02. 2020年12月期決算の概要
- 03. 2021年12月期の業績予想
- 04. 中長期ビジョン
- 05. ESG推進活動
- 06. 参考資料



**要素技術を通じて、新たな価値を創造し、
お客様から選ばれるソリューションパートナー**
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、社会・環境価値を創出する ～

当社の概要

1



01-1 当社の概要



社名	大倉工業株式会社 Okura Industrial Co.,Ltd.
所在地	香川県丸亀市中津町1515番地
代表者	代表取締役社長執行役員 神田 進
設立	1947年7月11日
資本金	86億1千9百万円
従業員数	2,005名(連結)、1,057名(単体)
発行済株式数	12,414,870株
株主総数	11,046名
主な事業	[合成樹脂]ポリエチレンフィルム製品、ポリプロピレンフィルム製品等 [新規材料]光学機能性フィルム製品等 [建 材]パーティクルボード、加工合板等
事業所	本社、東京支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店、広島営業所 丸亀第四工場、丸亀第五工場、仲南工場、詫間工場
子会社	連結子会社〔日本:12社、海外:1社〕 (株)関西オークラ、(株)関東オークラ、(株)九州オークラ、 (株)埼玉オークラ、(株)オークラプロダクツ、オークラホテル(株)、 (株)オークラプレカットシステム、オークラ情報システム(株)、(株)オークラハウス、 (株)ユニオン・グラビア、(株)オークラパック香川、(株)カントウ、 無錫大倉包装材料有限公司 非連結子会社 1社 大倉産業(株)

【2020年12月末現在】

合成樹脂事業

パッケージング

産業機能材

一般包材

アグリマテリアル

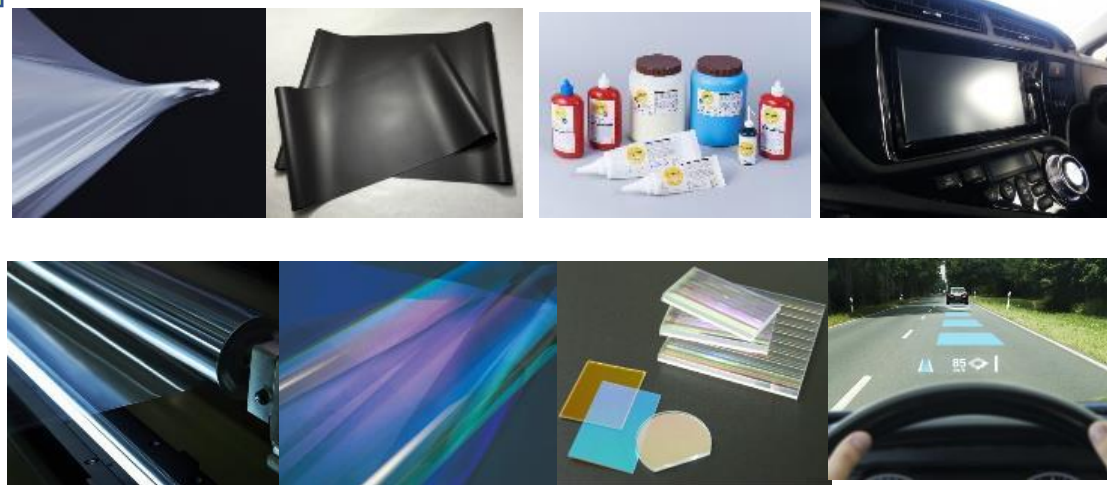


新規材料事業

機能材料

電子材料

光学材料



建材事業

パーティクルボード(素板)

住環境



その他事業

ホテル事業 : オークラホテル株式会社

情報処理事業 : オークラ情報システム株式会社

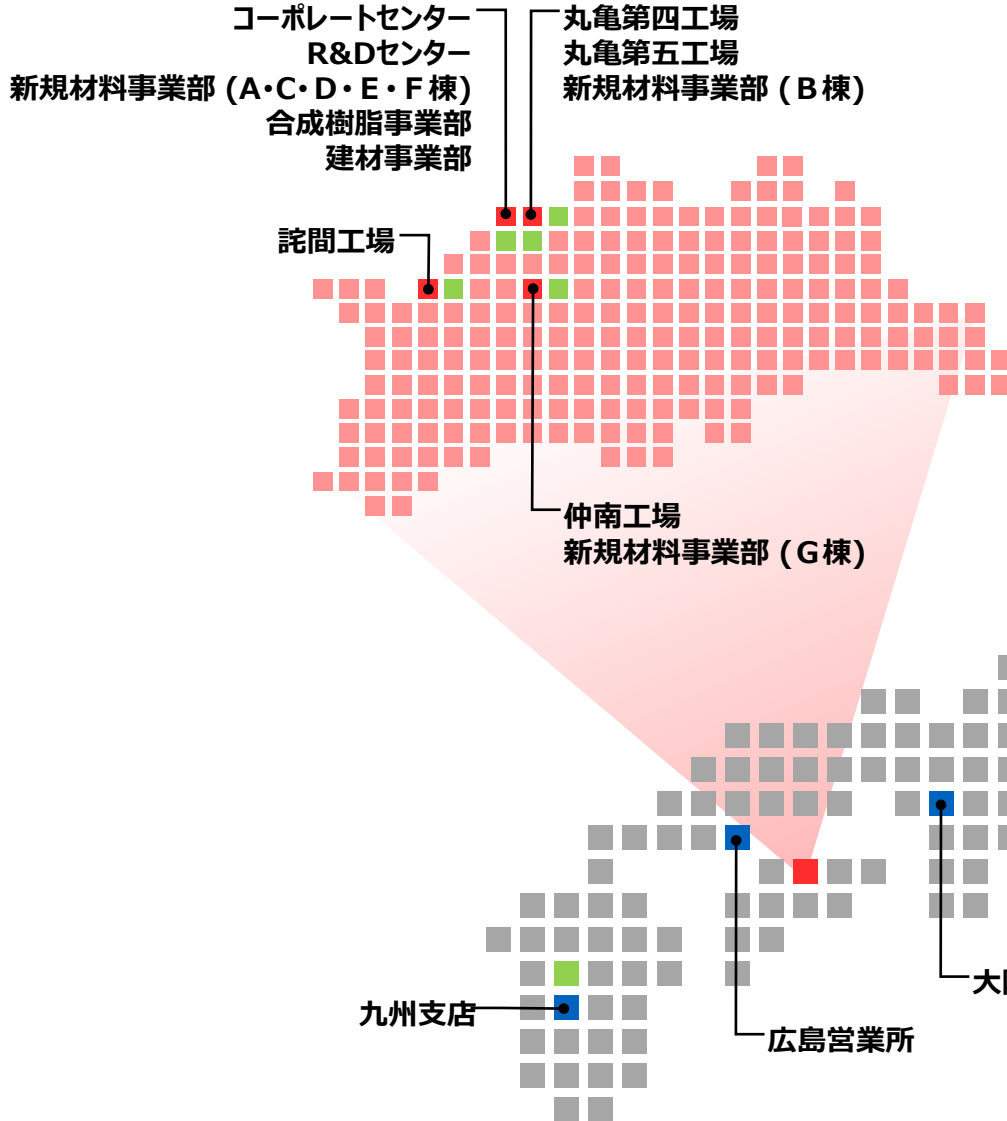
住宅事業 : 株式会社オークラハウス

プレカット事業 : 株式会社オークラプレカットシステム





01-2 当社の事業所とグループ会社



- グループ会社**
- (株)関西オークラ(滋賀県)
 - (株)関東オークラ(静岡県)
 - (株)九州オークラ(熊本県)
 - (株)埼玉オークラ(埼玉県)
 - (株)オークラプロダクツ
 - オークラホテル(株)
 - (株)オークラプレカットシステム
 - オークラ情報システム(株)
 - (株)オークラハウス
 - (株)ユニオン・グラビア
 - (株)オークラバック香川
 - (株)カントウ(埼玉県)
 - 無錫大倉包装材料有限公司
 - 尤妮佳包装材料(天津)有限公司
 - 大倉産業(株)
 - オー・エル・エス(有)
 - 大友化成(株)
 - 大宝(株)
 - 中讃ケーブルビジョン(株)
- ※(香川県)所在地省略

材料設計開発

ポリマーブレンドアロイ
有機無機ハイブリッド
重合、多層化



加工技術

製膜、延伸、塗工、印刷、
貼合、加圧、抽出、+ α



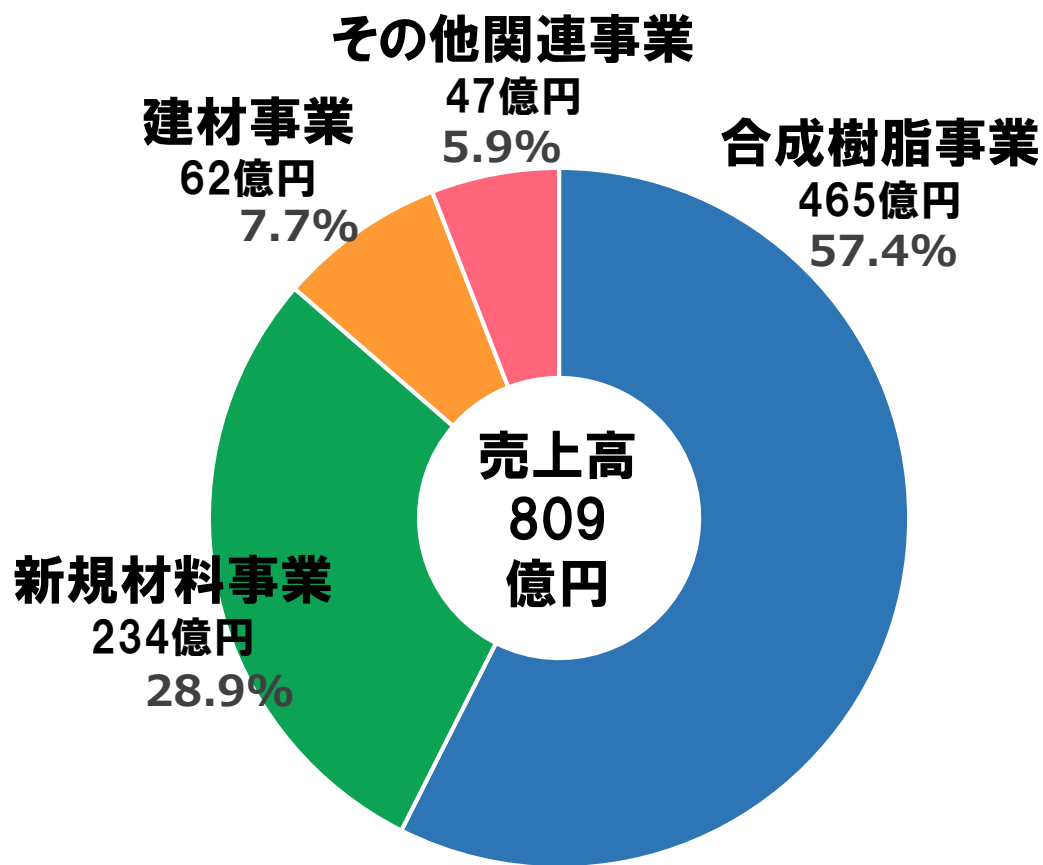
用途・形態・使用条件にマッチした材料と
製造プロセスでお客様のご要求に対応

さまざまな分野・業界への 製品対応力

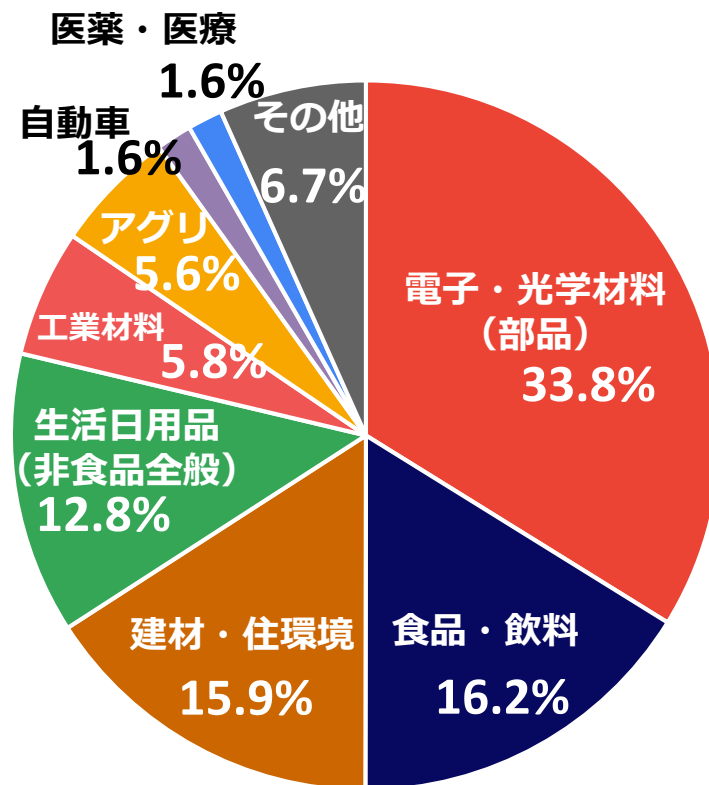
様々な業界のお客様とのお取引により
多様化するニーズにマッチした製品を
高い技術力生かし供給し続けています。



01-4 事業セグメント別、業界・用途別売上高比率



事業セグメント別売上高比率
(2020年)



業界・用途別売上高比率
(2020年)

2020年12月期決算の概要

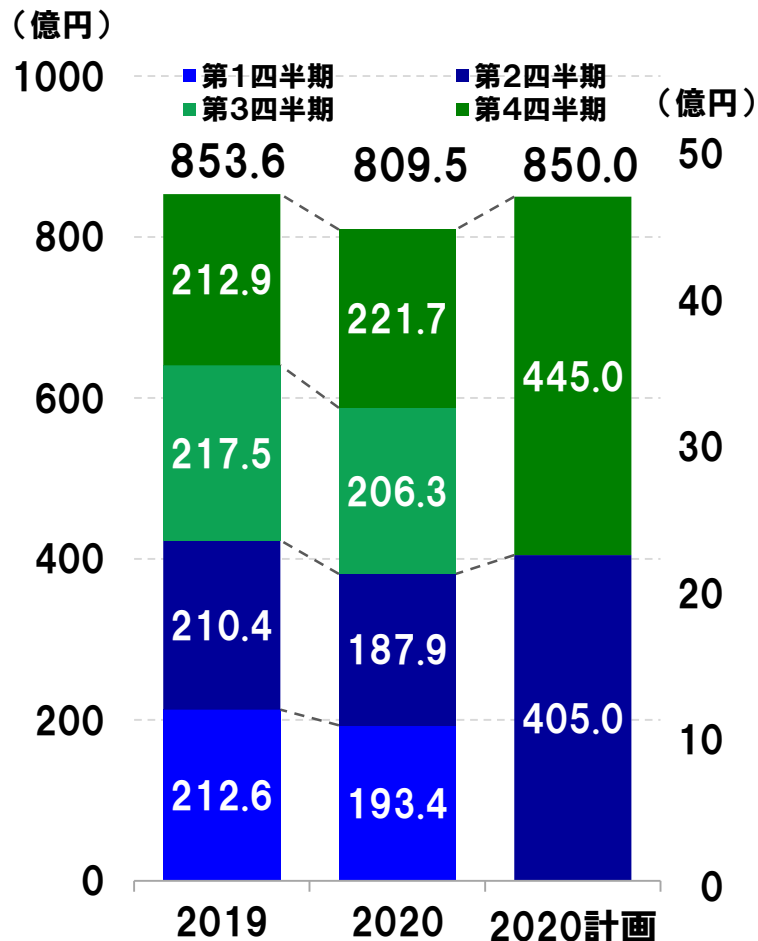
2

連結業績

新型コロナウイルス感染拡大による影響

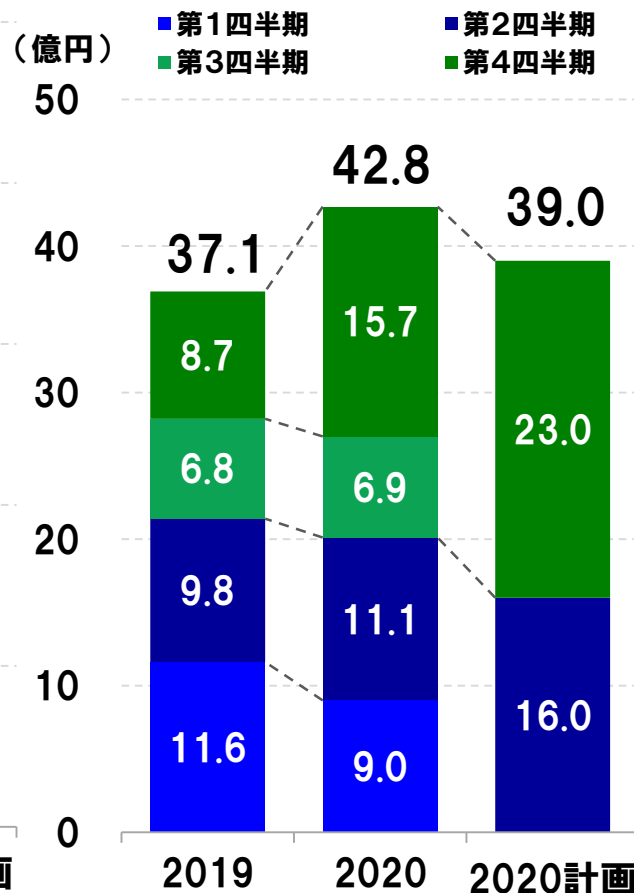
<p>合成樹脂事業</p>	<p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生材料用詰替えパウチ袋 ・食品トレー包装用ガスバリアフィルム 	<p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建材用保護フィルム ・建装材用フィルム ・自動車部品用フィルム ・業務用液体物流容器
<p>新規材料事業</p>	<p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PC、タブレット用光学フィルム ・テレビ用光学フィルム 	<p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンター部材 ・プロジェクター用偏光板 ・自動車部品用機能性フィルム
<p>建材事業</p>	<p>需要増 ↑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入基材代替パーティクルボード 	<p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロア用パーティクルボード
<p>その他関連事業</p>		<p>需要減 ↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテル事業(宿泊、宴会) ・ハウス事業(営業できず)

【売上高】



前年比 $\Delta 5.2\%$

【営業利益】



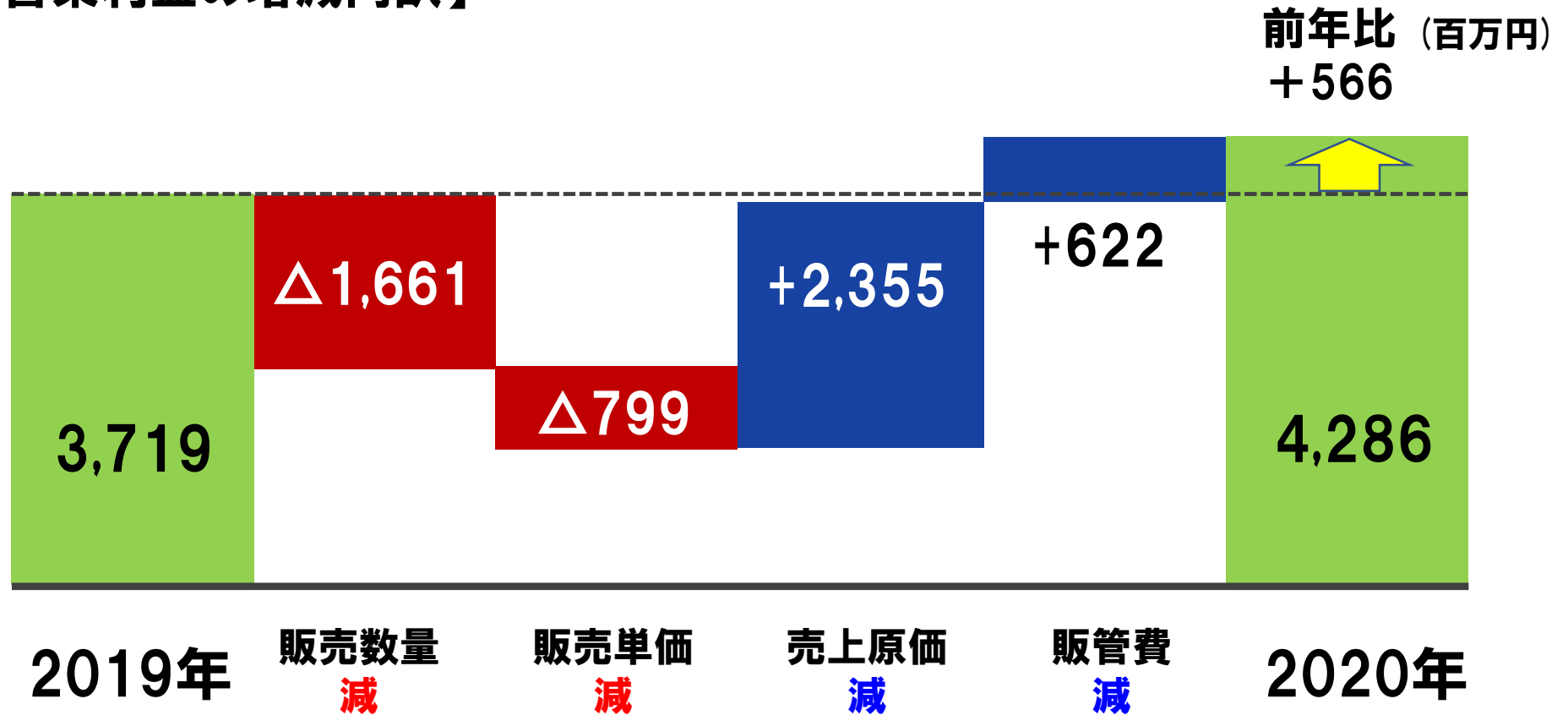
前年比 $+15.2\%$

- ▶ 第3四半期までは、新型コロナウイルス感染拡大による市場縮小の影響を受け、売上高は減少した。
- ▶ 第4四半期は売上高、営業利益ともに前年を上回った。
- ▶ 通年に渡り、変動コストが低位で推移した。

(億円)

	2019年	2020年	増減額	主な内訳
売上高	853.6	809.5	△44.0	
営業利益	37.1	42.8	+5.6	
営業外収益	3.1	4.0	+0.8	
営業外費用	1.4	1.8	+0.3	
経常利益	38.9	45.0	+6.1	
特別利益	1.9	0.1	△1.8	(前期) 固定資産売却益1.9
特別損失	6.1	4.3	△1.7	(当期) 投資有価証券評価損2.9 (当期) 臨時休業による損失 0.3
税金等調整前 当期純利益	34.7	40.8	+6.1	
法人税等	5.7	12.1	+6.4	税務調整により変動
親会社株主に帰属する 当期純利益	28.9	28.6	△0.3	

【営業利益の増減内訳】



02-1 連結貸借対照表



(億円)

	2019期末	2020期末	増減額	主な内訳
(資産の部)				
流動資産	425.6	431.8	+6.2	現金及び預金 +15.7 たな卸資産 Δ7.6
固定資産	409.2	394.6	Δ14.5	有形固定資産 Δ15.1
資産合計	834.8	826.5	Δ8.2	
(負債の部)				
流動負債	307.5	274.9	Δ32.5	借入金 Δ26.8 未払金 Δ11.5
固定負債	62.8	60.5	Δ2.2	
負債合計	370.3	335.5	Δ34.8	
(純資産の部)				
純資産合計	464.4	490.9	+26.5	利益剰余金 +22.0 有価証券評価差額金 +3.6

ROE	6.4%	6.0%
自己資本比率	55.6%	59.4%

(億円)

	2019年	2020年
現金及び現金同等物 期首残高	74.3	76.0
営業活動による キャッシュ・フロー	71.1	92.9
投資活動による キャッシュ・フロー	△55.6	△43.5
財務活動による キャッシュ・フロー	△13.7	△33.4
現金及び現金同等物 期末残高	76.0	91.7

▶ 営業キャッシュ・フロー

減価償却費 +48.3億円
税金等調整前当期純利益 +40.8億円
売上債権の減少 +1.1億円
仕入債務の減少 △3.3億円
たな卸資産の減少 +7.7億円

▶ 投資キャッシュ・フロー

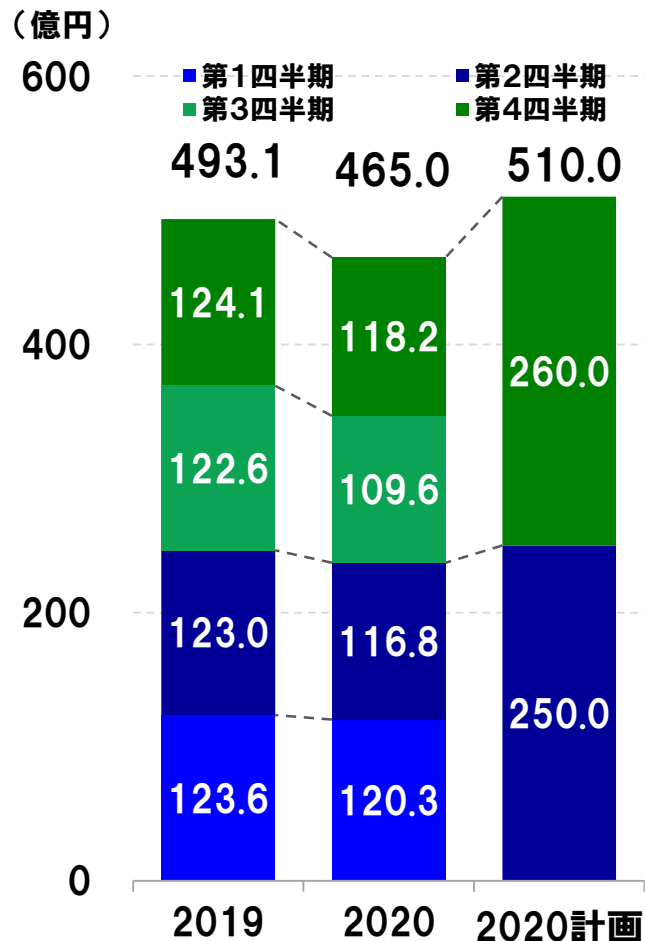
製造装置等の有形固定資産の
取得による資金の減少

▶ 財務キャッシュ・フロー

配当金の支払 △6.5億円
借入金 of 減少 △26.8億円

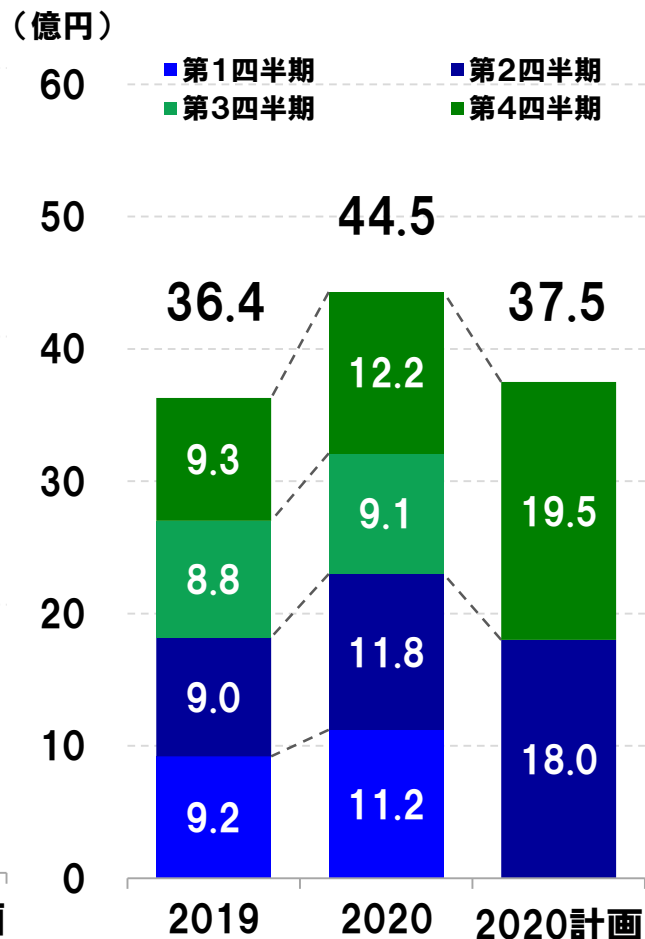
各セグメントの業績

【売上高】



前年比 △5.7%

【営業利益】



前年比 +22.4%

- 建材用途フィルム、自動車及び工業用途のフィルムが減少。
- 衛生材料向け詰替え用パウチ袋が増加。
- 原料構成により変動費が低位で推移。
- 付加価値の高い製品の販売数量が増加。

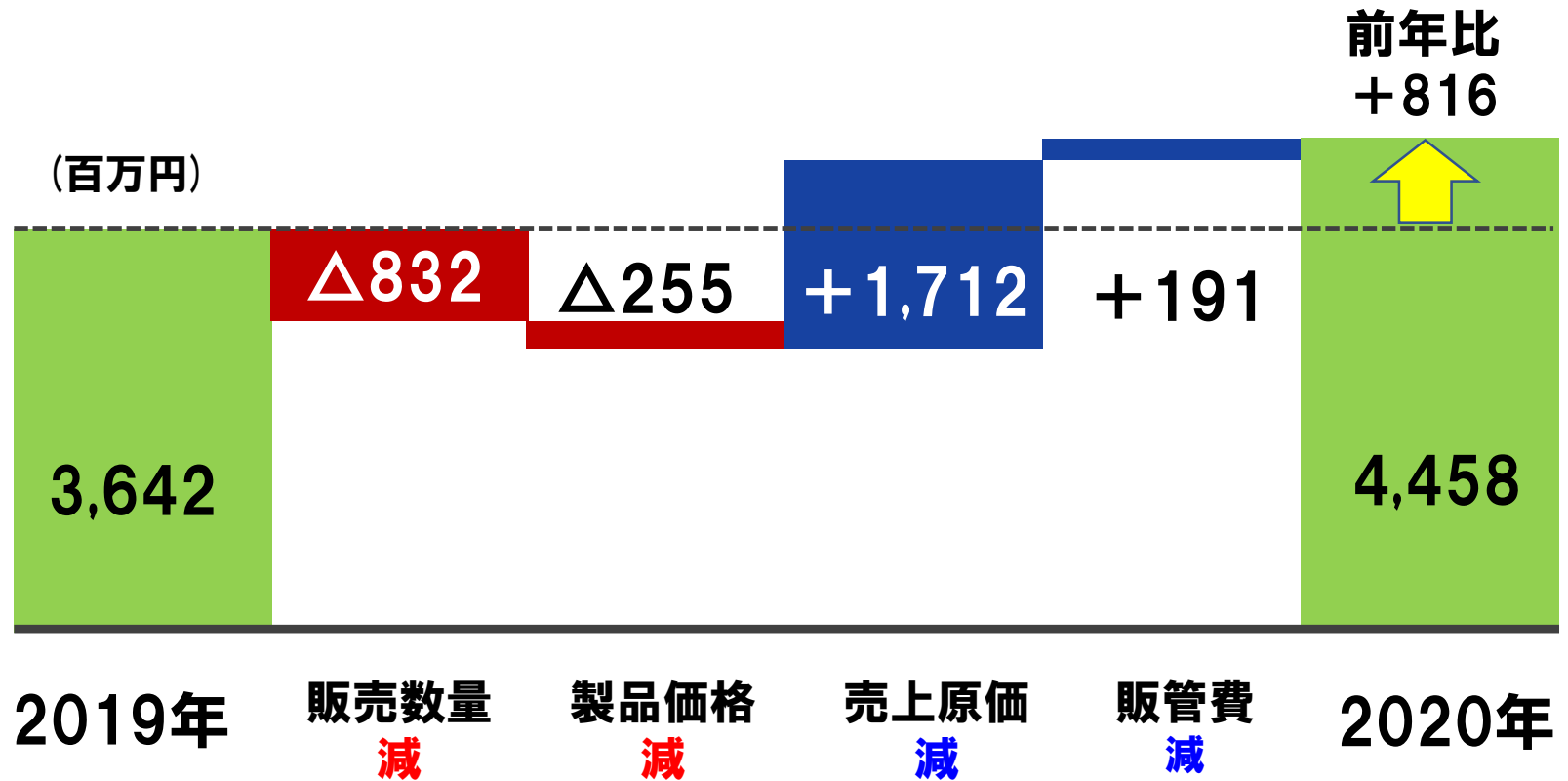
【製品別売上高】

(百万円)

	2020年	前年比
パッケージング B U	17,873	△1.5%
シュリンクフィルム	9,074	△1.6%
(内、食品トレー包装用ガスバリアフィルム)	(1,585)	(+11.3%)
軟包材	7,167	△0.5%
(内、衛生材料用詰替えパウチ袋)	(1,586)	(+28.6%)
リキッドパック	1,632	△5.1%
産業機能材 B U	5,466	△9.2%
一般包材 B U	17,982	△10.4%
アグリマテリアル B U	4,485	+0.2%
その他	694	+14.4%
合計	46,501	△5.7%

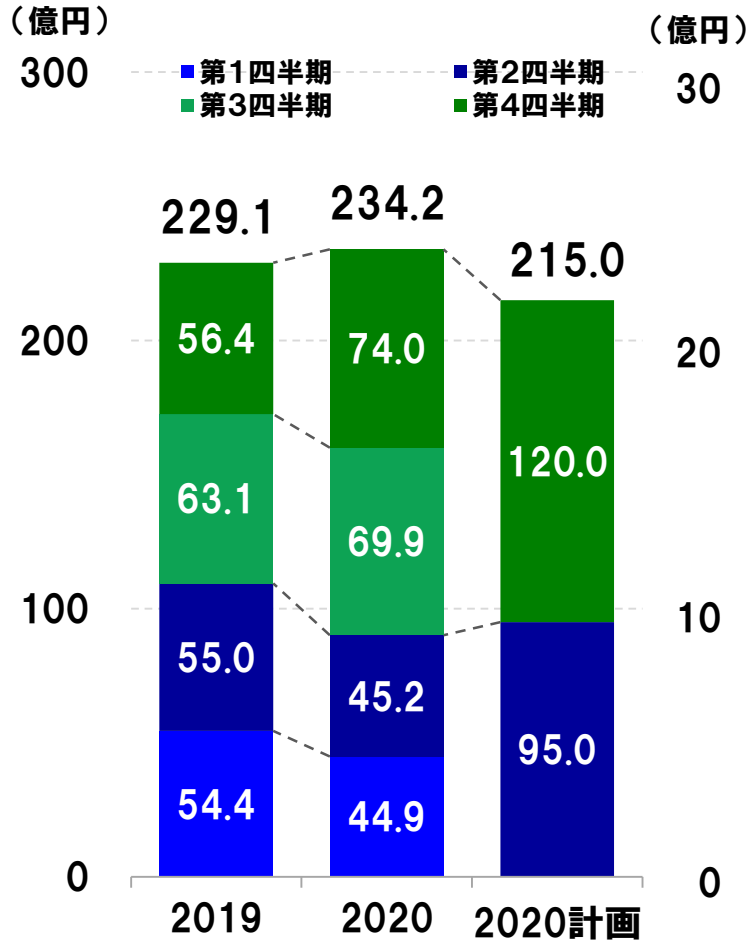
➤ 環境対応製品(生分解・バイオマス) 852百万円 前年比+42.6%

【営業利益の増減内訳】



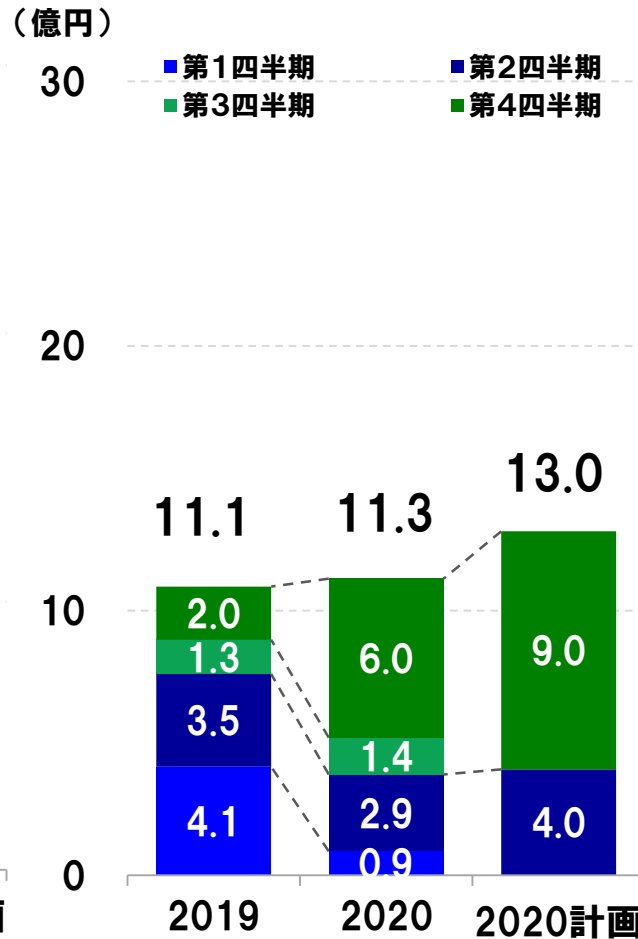


【売上高】



前年比 +2.2%

【営業利益】



前年比 +2.1%

- ▶ **機能性フィルム**
 コロナ影響により、自動車関連、OA機器向け機能材料製品が減少。
- ▶ **光学フィルム**
 大型液晶パネル向け光学フィルムは堅調に推移。
- ▶ **第4四半期は、売上高、営業利益ともに前年を大幅に上回った。**

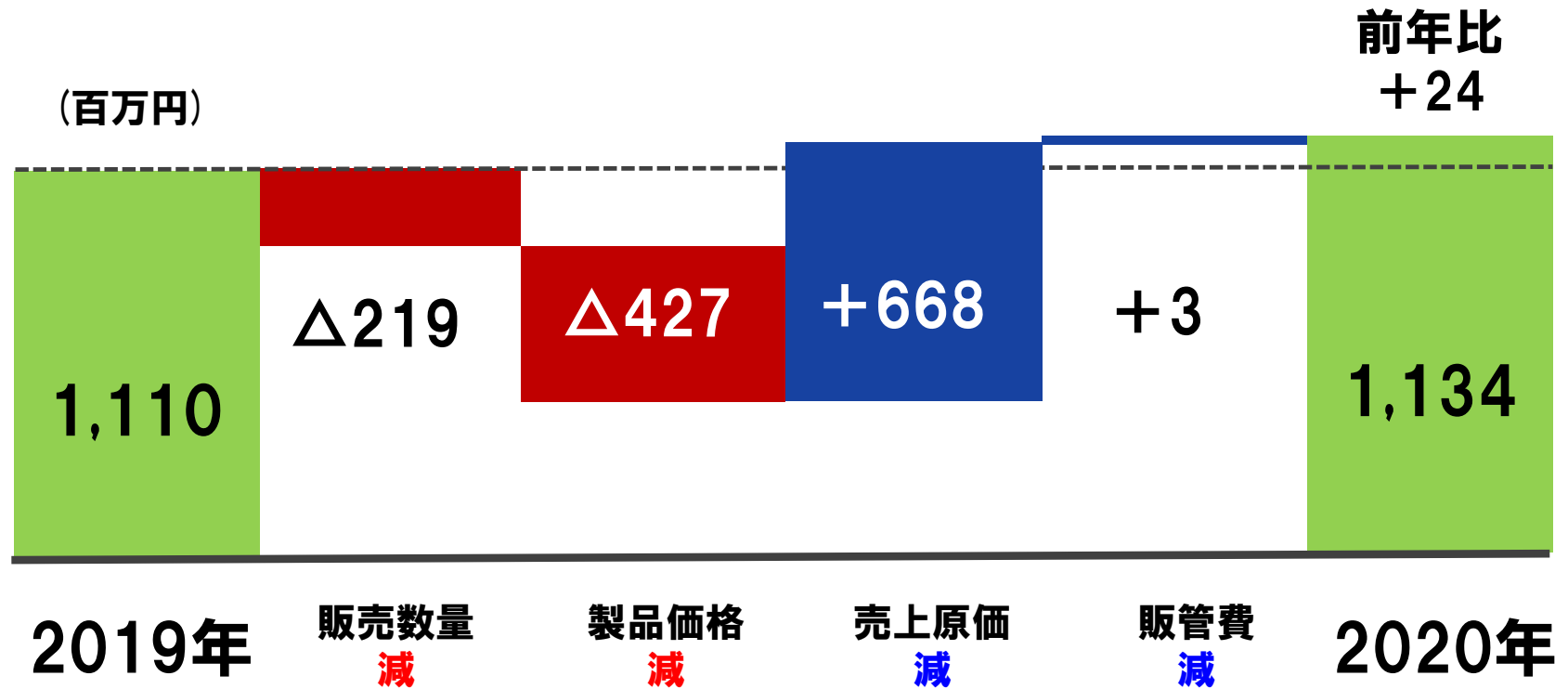


【BU別売上高】

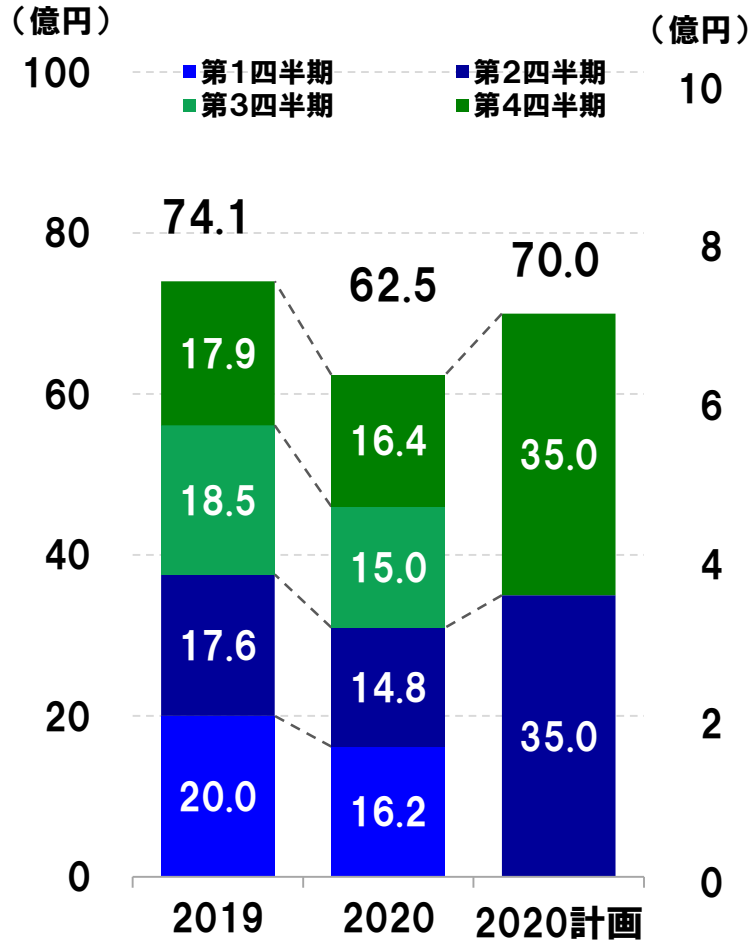
(百万円)

	2020年	前年比
第1BU(機能材料)	2,171	△22.0%
第2BU(電子材料-加工)	12,563	+18.7%
第3BU(光学材料-製膜延伸)	6,273	+20.5%
商 品 他	2,415	△44.3%
合 計	23,424	+2.2%

【営業利益の増減内訳】

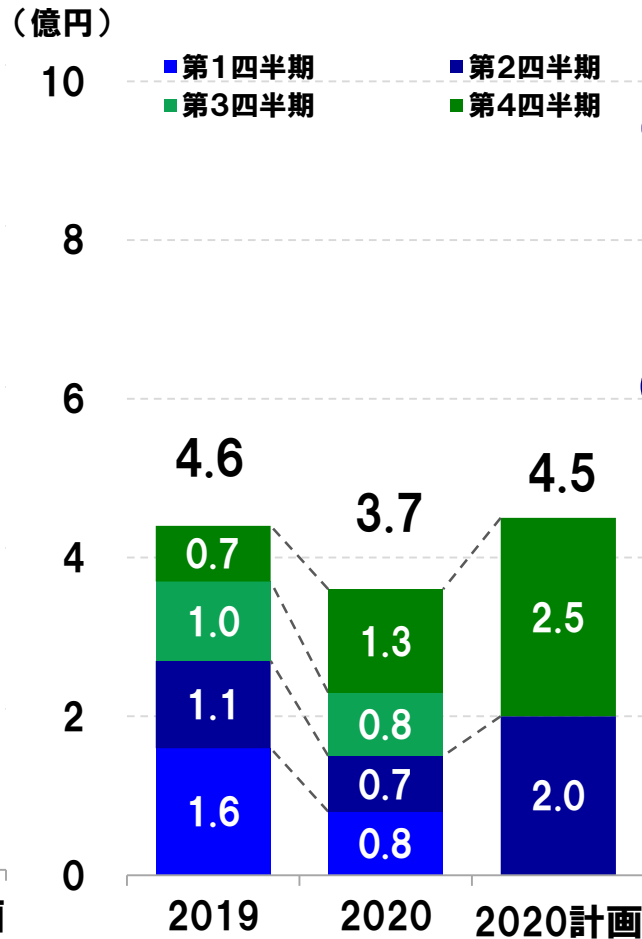


【売上高】



前年比 △15.6%

【営業利益】



前年比 △20.1%

▶ **フロア関連向けパーティクルボード**
消費増税及びコロナ影響により、販売数量が大きく減少。

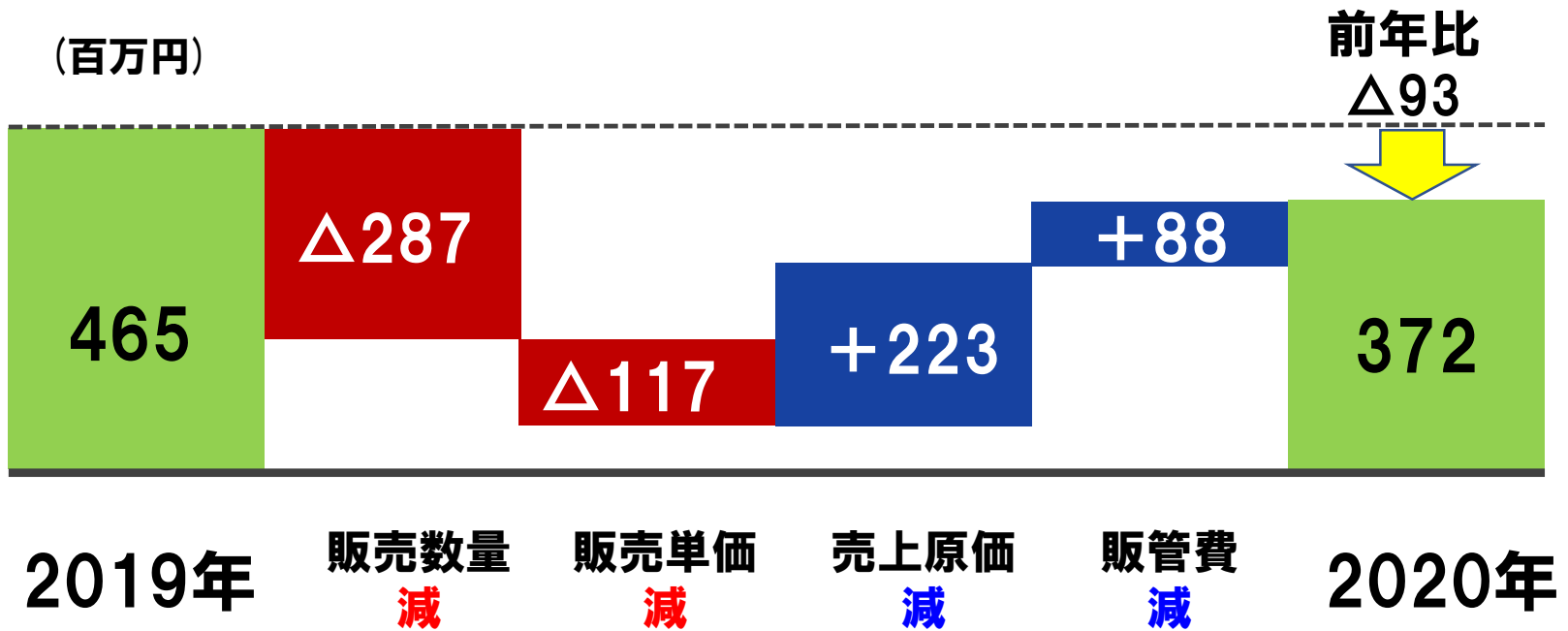
▶ **南洋材合板化粧板等**
前年6月に規格品の販売を、本年上期に一部の建築資材商品の販売を終了したことにより、売上高が減少。

【製品別売上高】

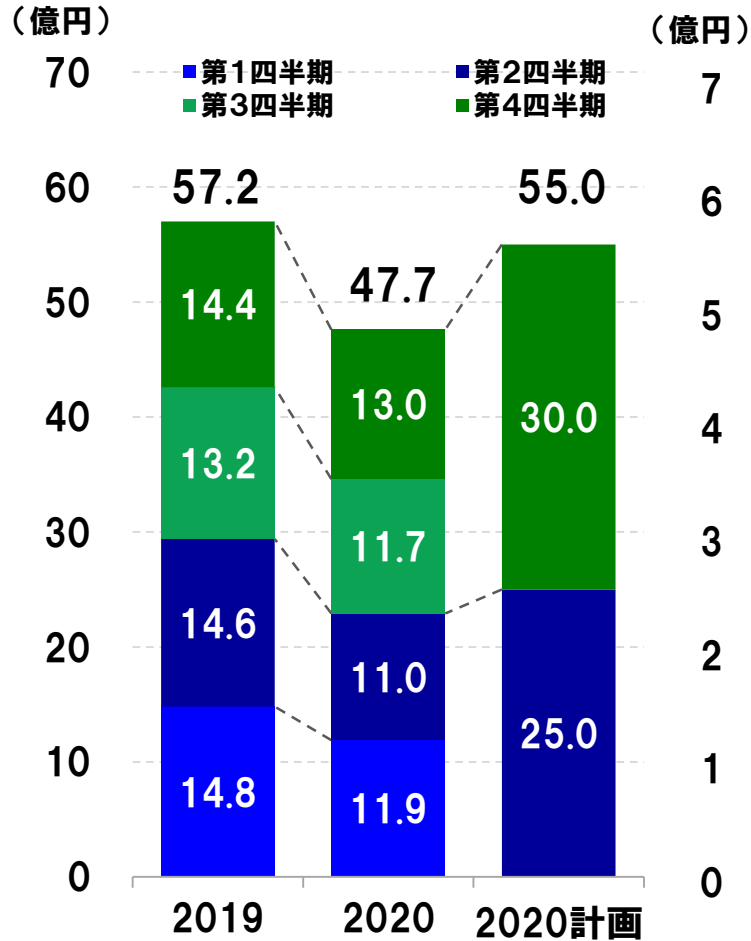
(百万円)

	2020年	前年比
パーティクルボード素板	3,155	+9.1%
パーティクルボードフロア	1,793	△27.1%
住環境(建装材、商品を含む)	1,306	△36.6%
(内、パーティクルボード基材加工品)	(956)	(△1.4%)
合 計	6,254	△15.6%

【営業利益の増減内訳】

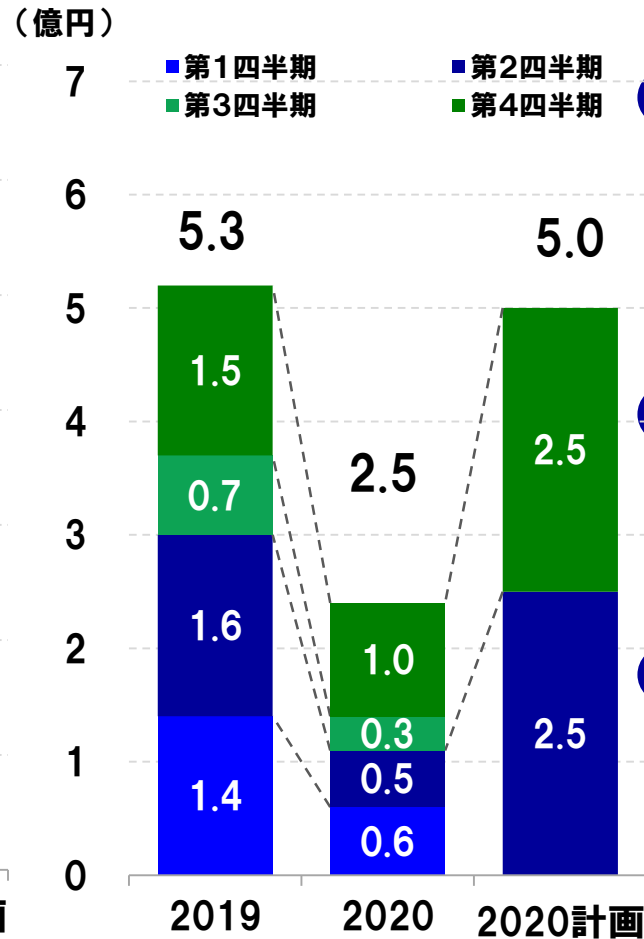


【売上高】



前年比 $\Delta 16.6\%$

【営業利益】



前年比 $\Delta 51.6\%$

▶ ホテル事業

コロナ影響により、宿泊や宴会が落ち込み、売上高が大幅に減少。

▶ 住宅・プレカット事業

コロナ影響により、住宅着工戸数が減少。

▶ 情報処理事業

調剤薬局向け調剤鑑査システムの販売が堅調。

【事業別売上高】

(百万円)

	2020年	前年比
ホ テ ル 事 業	509	△62.2%
情 報 処 理 事 業	1,198	+2.7%
住 宅 事 業	851	△6.6%
プ レ カ ッ ト 事 業	2,656	△2.2%
賃 貸 事 業	733	△5.7%
消 去 ・ 組 替	△1,170	—
合 計	4,778	△16.6%

2021年12月期 業績予想

3

市場、市況の想定

▶ GDP成長率

2020年実質GDP成長率 Δ 4.8%

2021年実質GDP成長率+3.7%(予測)

2021年国内需要は緩やかに回復も2019年(コロナ前)までは戻らず。

▶ 当社関連事業の需要想定

①衛生材料、内食用、ネット通販関連の包装フィルムは引き続き堅調。

②ディスプレイ用光学フィルムは、堅調に推移すると想定。

③住宅着工戸数は、前年比 Δ 9.9%の2020暦年(81.5万戸)から、緩やかに回復するも微増にとどまる。

▶ 原油・ナフサ価格は上昇

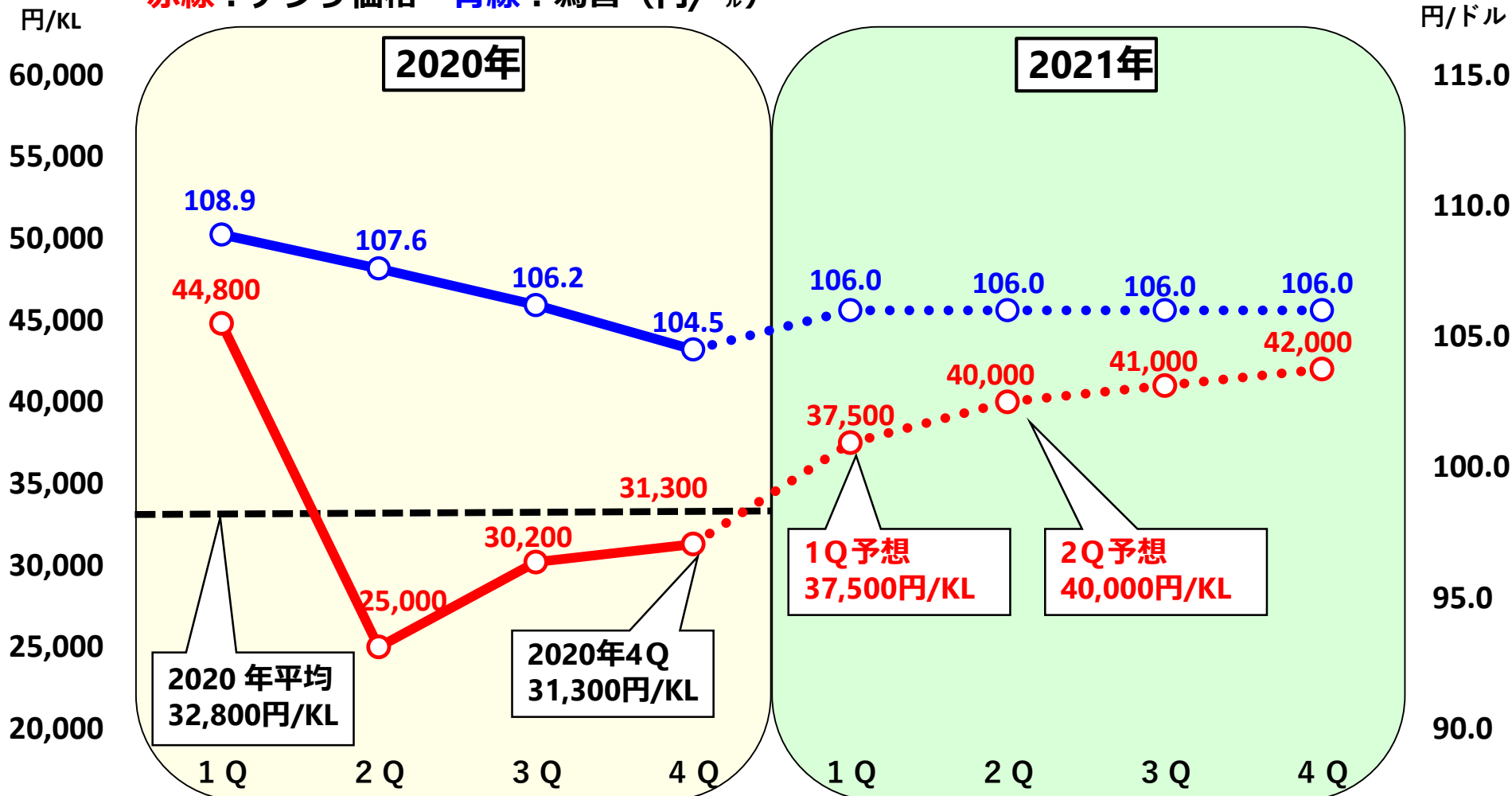
国産ナフサ価格

2020年4Q:31,300円/KL、1Q:37,500円/KL、2Q:40,000円/KL

03-1 国産ナフサ価格及び為替の足下での動向



赤線：ナフサ価格 青線：為替 (円/ドル)



2020年 1Q：44,800円/KL (確報値) 2Q：25,000円/KL (確報値)
 3Q：30,200円/KL (確報値) 4Q：31,300円/KL (速報値)
 2021年 1Q：37,500円/KL (予想値) 2Q：40,000円/KL (予想値)
 3Q：41,000円/KL (予想値) 4Q：42,000円/KL (予想値)

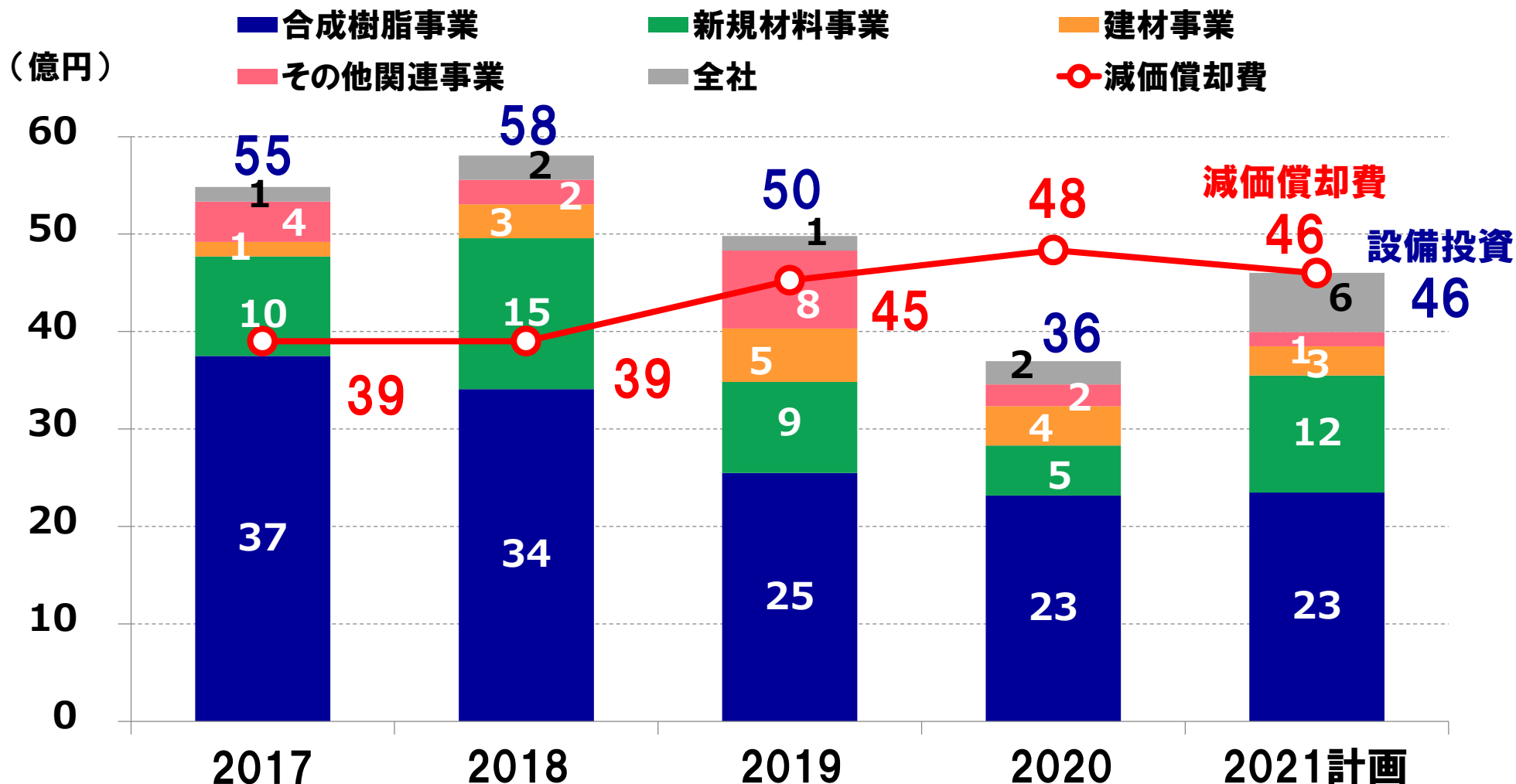
※折れ線グラフ中の点線の値は当社予想値。

(億円)

	2020年 実 績	2021年 予 想	前 年 比
売 上 高	809.5	825.0	+1.9%
営 業 利 益	42.8	41.0	△4.3%
経 常 利 益	45.0	42.5	△5.8%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	28.6	28.0	△2.3%
設 備 投 資	36.9	46.0	+24.4%
減 価 償 却 費	48.3	46.0	△4.9%
償却前経常利益	93.4	88.5	△5.3%

- 売上高はすべての事業セグメントで増加するものの、利益面では原材料価格の上昇と研究開発費の増加などにより、前年を下回る予想。

03-1 設備投資(工事ベース)及び減価償却費



- 2021年の設備投資は、大型用光学フィルムの生産能力増強や研究開発設備の導入などを計画。

各セグメントの業績予想

(億円)

	2020年 実績	2021年 予想	前年比
売上高	465.0	470.0	+1.1%
営業利益	44.5	44.0	△1.3%
設備投資	23.1	23.5	+1.4%
減価償却費	28.0	25.0	△1.1%

2021年の取組み

- 環境対応製品の早期開発拡充と市場投入(計画 9.4億円)
- トータルパッケージング提案による販売拡大(計画 3.0億円)
- 既存成長事業の競争力強化 (計画 6.3億円)

農業用フィルム新製品

本年より、本格販売を開始。

➤ 農業用生分解性マルチフィルム「エコローム®こかけ」

マルチフィルムを微生物が分解するため、
収穫後のフィルム回収が不要。
乳白色層で赤外線を反射し、地温上昇を抑制。

➤ トンネル用フィルム「暖地郎」

保湿性・流滴性を有した機能性フィルムで、
結露防止効果とトンネル内保湿効果を発揮。

➤ 環境負荷低減型マルチ「省之助」

通常マルチを薄膜化し、厚みを40%カット。
1,000mの長尺巻きを実現。

➤ ガスバリアマルチ「祐作」

農薬を閉じ込め、環境リスクを低減。

(参考)レタスの全国作付け面積:20,439ヘクタール
年間フィルム需要量:約3,700t 当社シェア24%



(億円)

	2020年 実績	2021年 予想	前年比
売上高	234.2	240.0	+2.5%
営業利益	11.3	12.0	+5.8%
設備投資	5.1	12.0	+133.9%
減価償却費	10.7	12.0	+11.8%

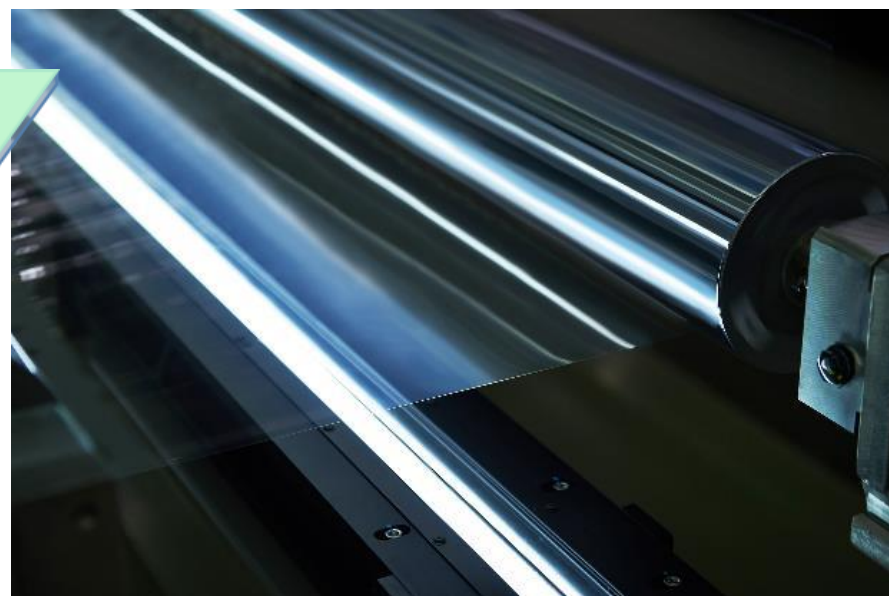
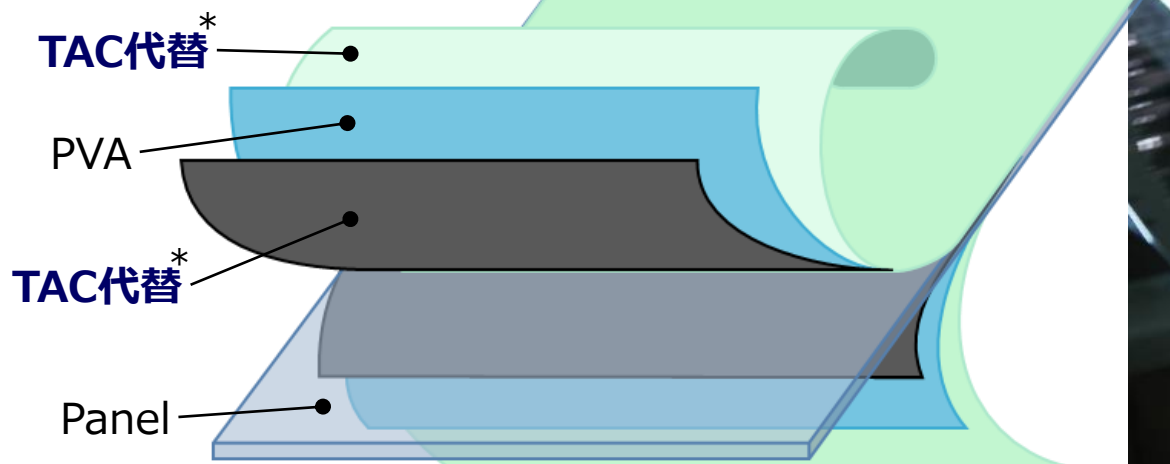
2021年の取組み

- 大型液晶パネル向け光学フィルムの増強(生産能力 約1.5倍へ)
- フォルダブル用光学フィルム量産化

大型用光学フィルムの生産能力増強

製造装置の改造
大型用光学フィルム量産増強体制を確立。
設備投資金額640百万円。

* 当社製造部材、量産実績あり



2021年下期より量産開始予定

(億円)

	2020年 実績	2021年 予想	前年比
売上高	62.5	65.0	+3.9%
営業利益	3.7	4.0	+7.4%
設備投資	4.0	3.0	△25.7%
減価償却費	3.7	3.0	△19.6%

2021年の取組み

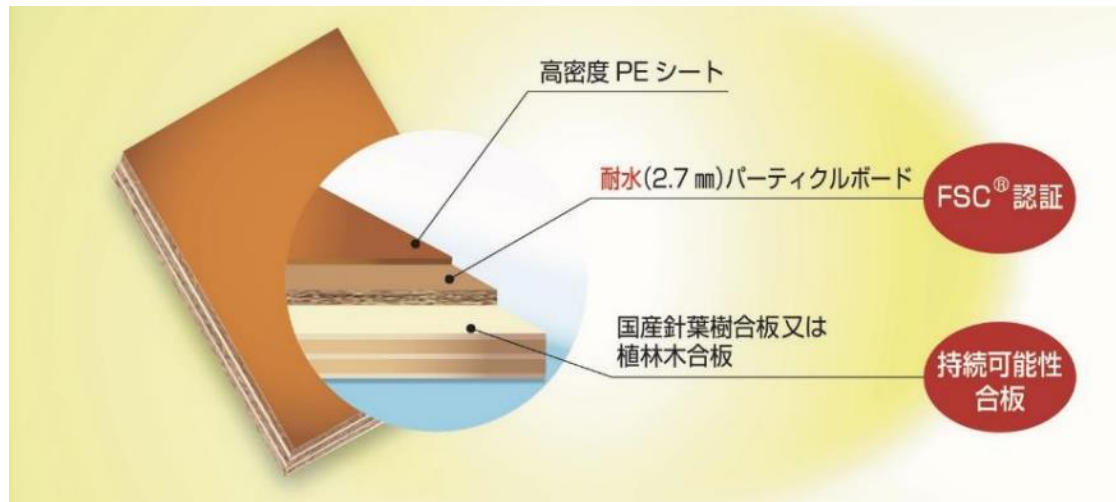
- 環境型枠「comori 木守」量産化
- 高機能省施工断熱パネルの拡販

環境型 枠

持続可能な社会に貢献する
コンクリート型枠パネル

comori 木守

商標及び特許出願中



1. 環境配慮型製品

違法伐採等のリスクのない100%国産針葉樹合板または植林木合板とFSC®※1のCOC認証※2を取得している耐水パーティクルボードを使用

2. 安心・安定品質

強度、耐久性、耐アルカリ性、接着性能などラワン型枠用合板と比較しても同等の品質・性能

3. 耐水性・平滑性&コンクリート剥離性

耐水パーティクルボードの優れた平滑性により合板特有の木理転写を防止、さらに表面にラミネートされた高密度PEシートによりコンクリート剥離性が向上

4. 軽量化

国産針葉樹合板または植林木合板を用いることで、10%の軽量化を実現

5. 国交省新技術登録制度NETIS※3登録



施工現場

(※1) FSC: Forest Stewardship Council 森林管理協議会。

(※2) COC認証: 製品が完成するまでの全ての工程でFSC認証材が不適合なものと混ぜられていない認証。

(※3) NETIS: 国土交通省が新技術の活用を推進する目的で運用している新技術情報提供システム。(NEW Technology Information System)

(億円)

	2020年 実績	2021年 予想	前年比
売上高	47.7	50.0	+4.6%
営業利益	2.5	4.0	+55.7%
設備投資	2.2	1.5	△32.7%
減価償却費	4.1	3.5	△14.8%

2021年の見通し

- ホテル事業は、新型コロナウイルスの影響により、厳しい状況が継続。
- 住宅関連は、住宅着工戸数が微増に留まる中、新商品の提供に努める。

2021年の取り組み

【環境・エネルギー】

・環境負荷低減製品とリサイクル技術の開発

【ライフサイエンス】

・細胞培養製造プロセス用部材の開発

【情報通信】

・次世代通信規格5Gで要求される高周波低損失基板用部材の開発



使用済み農PO



回収



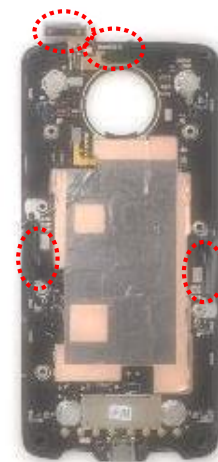
洗浄・ペレット化



再利用製品



マルチフィルムへ再利用



5Gアンテナモジュール4カ所



5Gアンテナ部

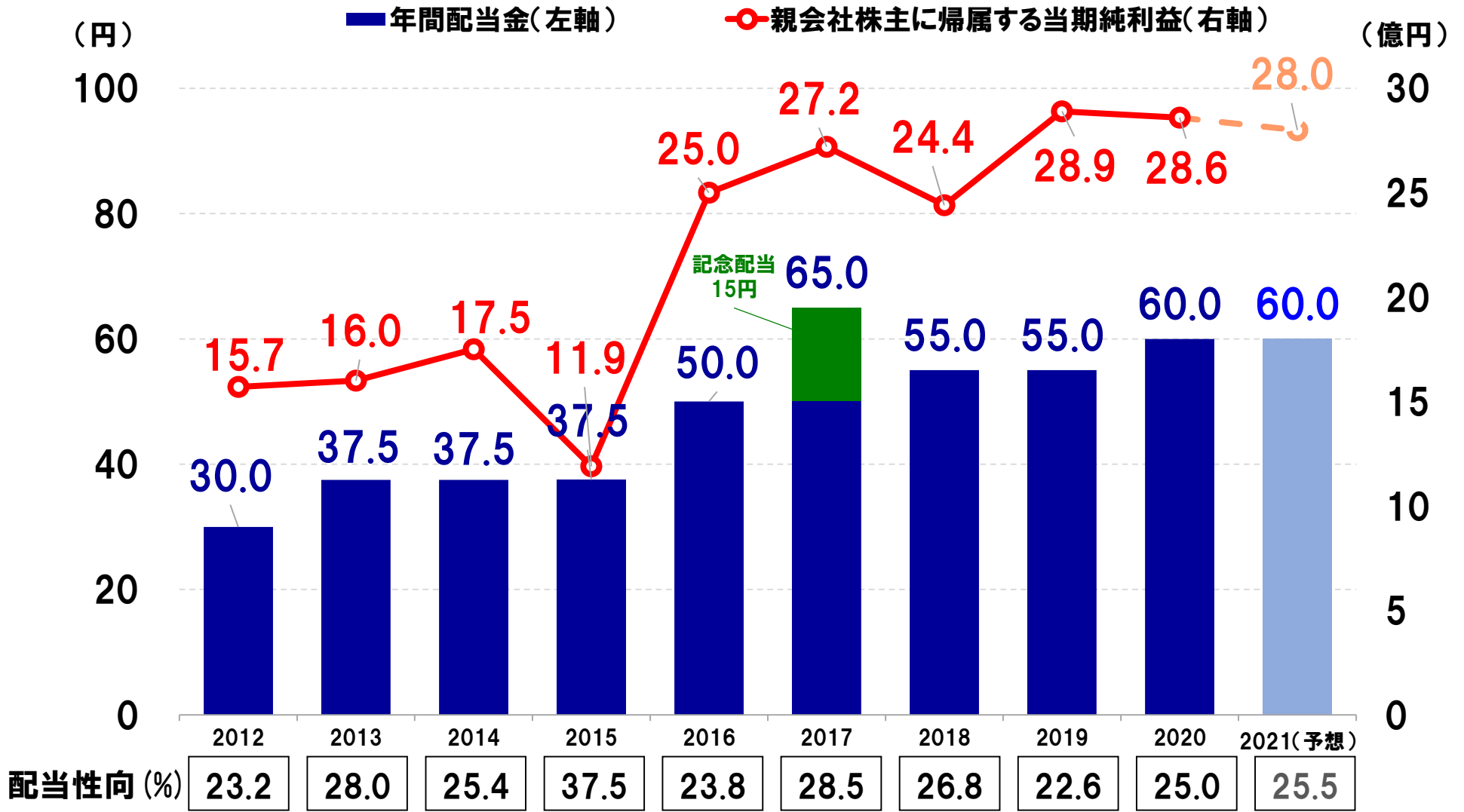


樹脂リサイクル技術・システムの開発

細胞培養用
シングルユースバック

高周波低損失基板用部材

03-3 株主還元



2020年期末配当金は、一株当たり60円に増配。

中長期ビジョン

4

理念体系と10年ビジョンを策定

人ひとりを大切に
地域社会への貢献
お客様を第一に

経営理念

ビジョン

Next 10
次の10年に向けて「ありたい姿」

要素技術を通じて、新たな価値を創造し、
お客様から選ばれるソリューションパートナー
～ お客様の価値向上と社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、社会・環境価値を創出する

事業

CSRとの整合性を持った活動

中期経営計画
年度事業計画

CSR

事業を通じて実現

CSR基本方針
ESG経営

社訓

日々向上 創意工夫 同心協力

倫理綱領

行動の7原則



人ひとりを大切に

一人ひとりの人権を尊重し、安全で働きやすく、活力あふれる職場づくりに努めます。

地域社会への貢献

当社の製品・サービスを通じて、安心して快適な生活に貢献するとともに、良き企業市民として積極的に社会貢献活動に取り組みます。

お客様を第一に

環境変化に応じて、必要とされる製品・サービスを常に提供し続け、お客様とともに成長していくソリューション企業を目指します。

創業者の社訓

日々向上

一人ひとりが向上心を持ち、自身の課題を設定し、能力の向上に努める。

創意工夫

既成概念にとらわれず、新しい視点と発想で、改善・改革・開発に取り組む。

同心協力

一人ひとりが目標を共有し、互いに知恵を出し合い、対話を重んじ信頼関係を深め全体最適の視点で課題解決に努める。

行動の7原則

1. 人々の安心で快適な生活を支える製品やサービスを提供し、消費者やユーザーの信頼を獲得します。
2. 従業員のゆとりと豊かさを実現し、安全で働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格と個性を尊重します。
3. 公正、透明かつ自由な競争を行うと同時に、政治や行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
4. 企業情報を積極的かつ公正に開示すると同時に、広く社会とのコミュニケーションを行い、各ステークホルダーと良好な関係を構築します。
5. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは、断固として対決します。
6. 環境問題への取り組みは企業の存続と活動に必須の条件であることを認識し、自主的かつ積極的に行動します。
7. 海外においては、その文化や習慣を尊重し、現地の発展に貢献する経営を行います。

経営ビジョン「Next 10」

[注力する領域]

人々の安心で快適な生活を支える事業

食・アグリ、住空間、生活用品、ヘルスケア、医療

環境・エネルギー負荷を軽減する事業

サステナブル材料、減量化、リサイクル、省エネ

情報通信に関する事業

高速通信、フレキシブルデバイス、モビリティ

社会から
信頼される企業

・
技術優位な
企業集団

2018

2019

2020

2021

2022

創業75周年

2029

第六次中期経営計画

Next 10

— 次の10年に向けて「ありたい姿」 —

「要素技術を通じて、
新たな価値を創造し、
お客様から選ばれる
ソリューションパートナー」

お客様の価値向上と
社会課題の解決に貢献し、
事業を通じて、
社会・環境価値を
創出する

環境・エネルギー



環境・エネルギー 創・畜省エネ 農業 分野



3つの領域を横断するモビリティ領域

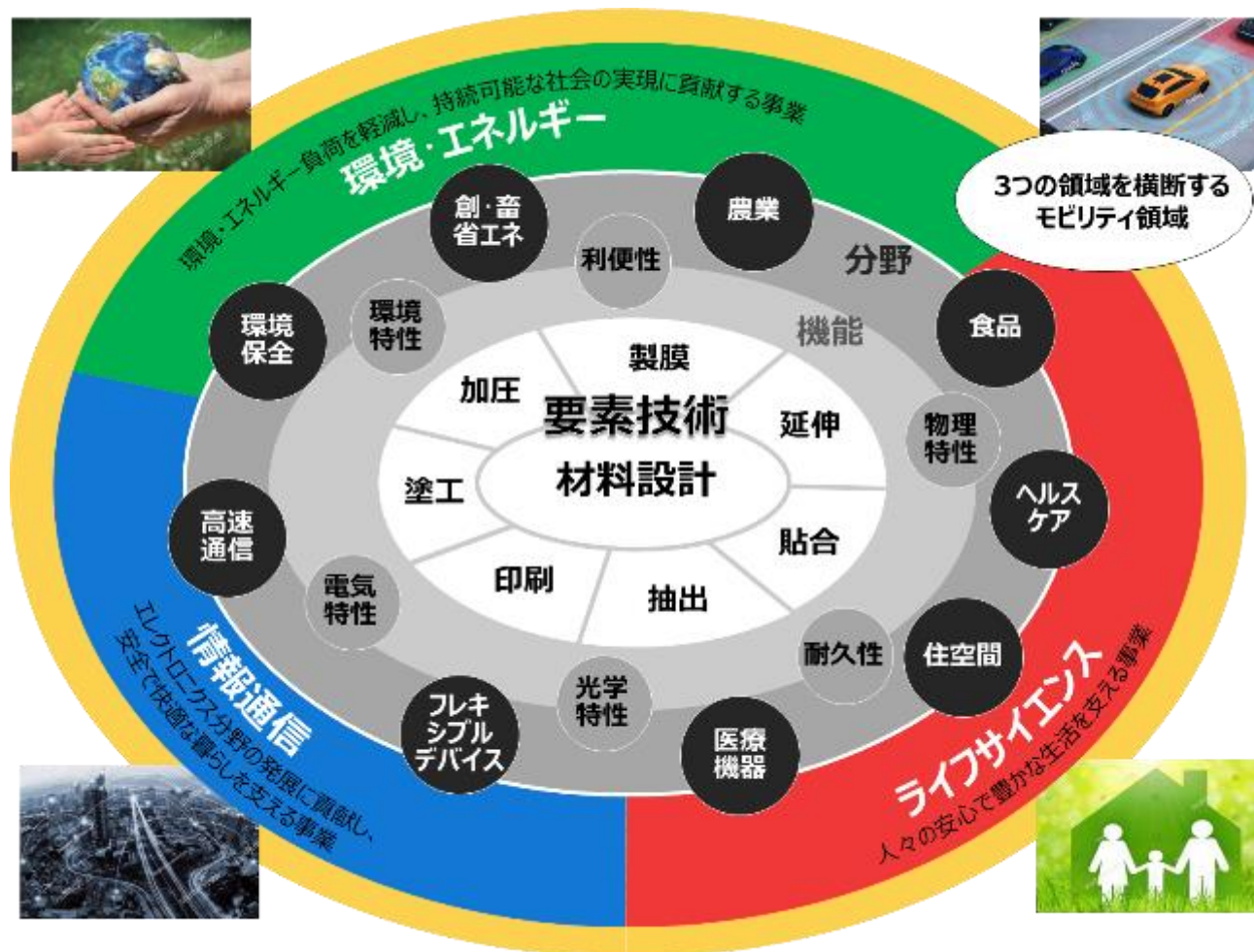
情報通信



情報通信 エレクトロニクス分野の発展に貢献し、安全で快適な暮らしを支える事業

ライフサイエンス

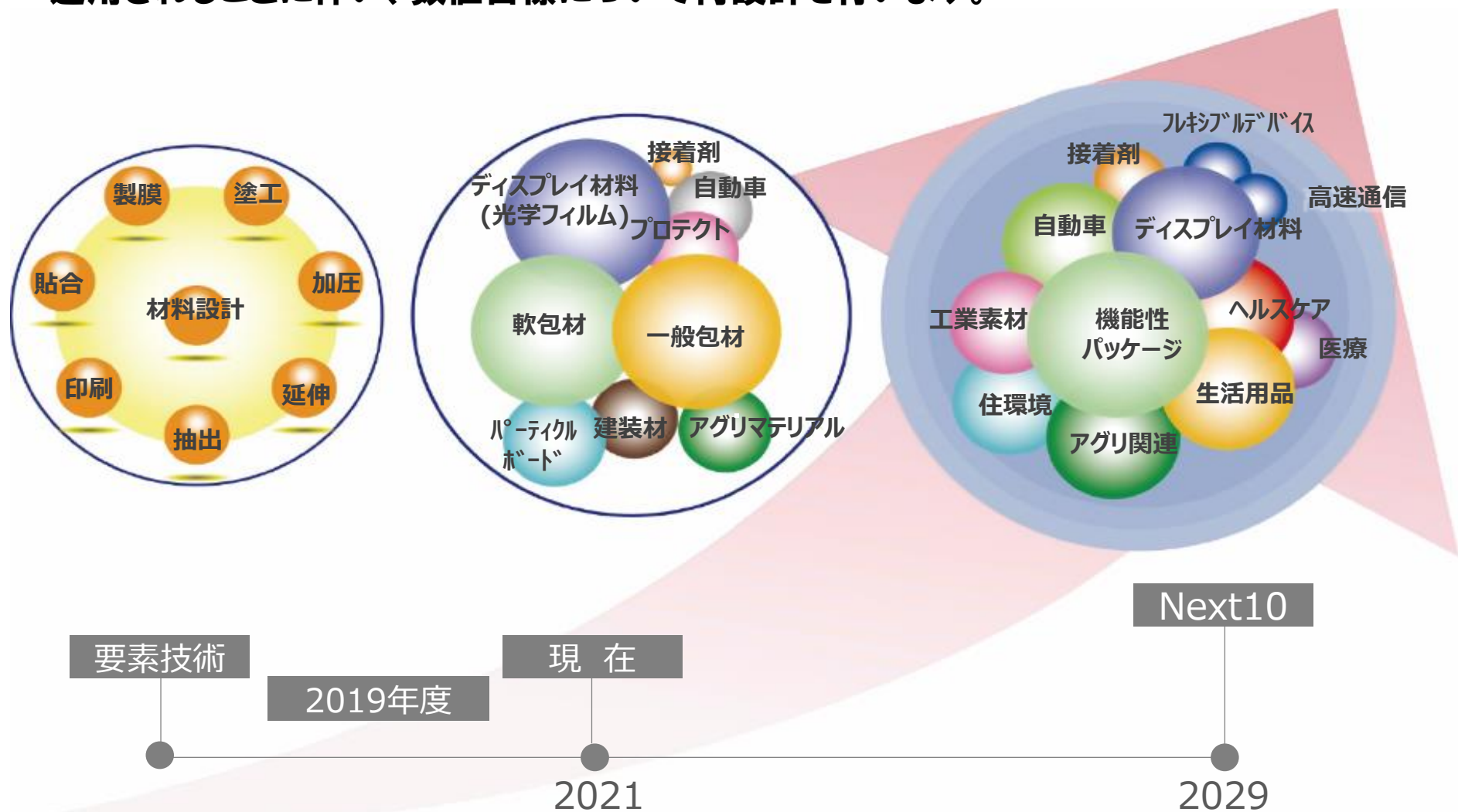
ライフサイエンス 人々の安心で豊かな生活を支える事業



注力領域

「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」「情報通信」と、3つの領域を横断する「モビリティ領域」

「収益認識に関する会計基準」が、2022年12月期より適用されることに伴い、数値目標について再設計を行います。





第六次中期経営計画の位置づけ

グループビジョンの実現へ向けた第一ステップ 「新たな成長トレンド」への転換

グループビジョンの実現に向けた第一ステップとして土台を作り、
「新たな成長トレンド」への転換を推進する

Step
02

Step
01

【第六次中期経営計画の基本方針】

既存事業の再構築と成長分野への投資

【全社戦略】 徹底した『マーケットイン』で『稼ぐ力をつける』
《付加価値の増大》

- 【重点取組み】
1. 先行大型投資案件の早期収穫
 2. 既存事業の基盤強化（事業構造改革の完遂）
 3. 成長市場・分野への投資と新たな成長エンジンの創出
 4. ESG

1. 先行大型投資案件の早期収穫

第五次中期経営計画期間後半に実施した、フレキソ印刷機、OPシュリンク多層製膜装置、光学フィルム製膜装置などの大型投資案件について、第六次中期経営計画期間前半にフル稼働を実現して、早期の収穫を図るとともに、事業の拡大を図ります。



仲南工場に導入した
シュリンクフィルム製造装置



精密コーティング装置
(巻取機)

2. 既存事業の基盤強化(事業構造改革の完遂)

合成樹脂事業において、(株)埼玉オークラを設立し、東日本地区の軟包材製品事業及びアグリマテリアル製品事業の競争力の強化を図ります。

建材事業では、南洋材を基材とした化粧板及び不燃化粧板の販売を終了し、建装材事業の住環境事業への転換を推進します。

また、すべての事業において、IoT技術を利用した省力化・自動化設備を積極的に導入し、収益基盤の強化を図ります。



(株)埼玉オークラに導入した
6色印刷機



高性能省施工断熱パネル
施工現場

ライフサイエンスと情報通信を絡めた新規事業 探索のため香川県多度津町に試験農場を設置

▶ 目的

農産物、植物を原料とした機能性成分を効率的に取り出し、伸長が予想されているヘルスケア等の付加価値の高い製品への応用の研究開発

▶ 試験農場の規模

- ・農業用ハウス（約900m²）
- ・露地栽培エリア(約600m²)

▶ 検討テーマ

1. 植物に機能性成分を豊富に含有させる栽培方法の検討
2. 農薬を極力使わない、安心・安全な植物の栽培方法の検討
3. 栽培環境のモニタリングや農業用AIロボットの運用テストによる省人・省力化(スマート農場)の検討



農業用ハウス



農業用ハウス内部

ESG推進活動

5

CSR
基本方針

「社会から信頼される企業」であり続ける

E 環境

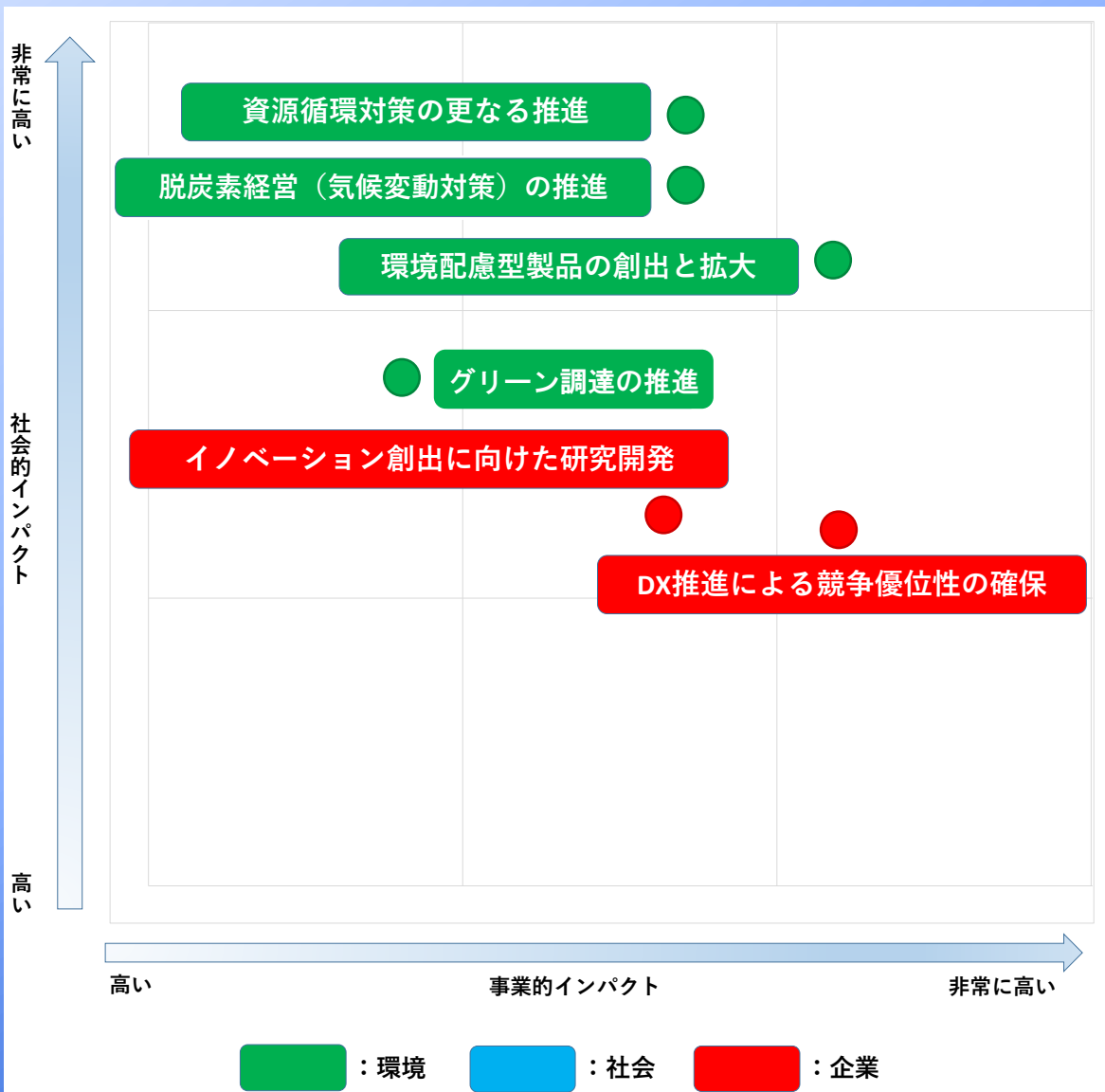
資源循環システムの推進
気候変動対策への積極的な取組み

S 社会

社会貢献活動の推進
働きがいのある職場形成の確立

G ガバナンス

透明性の高い経営の実現



- ### 〈マテリアリティ〉
- 脱炭素経営（気候変動対策）の推進
 - 資源循環対策の更なる推進
 - 環境配慮型製品の創出と拡大
 - グリーン調達への推進
 - DX推進による競争優位性の確保
 - イノベーション創出に向けた研究開発

- ### 〈事業基盤〉
- 汚染防止の徹底
 - 働きがいのある職場環境の整備
 - 地域社会との共生
 - 企業の信頼性・透明性の向上

E 環境



【資源循環システム】

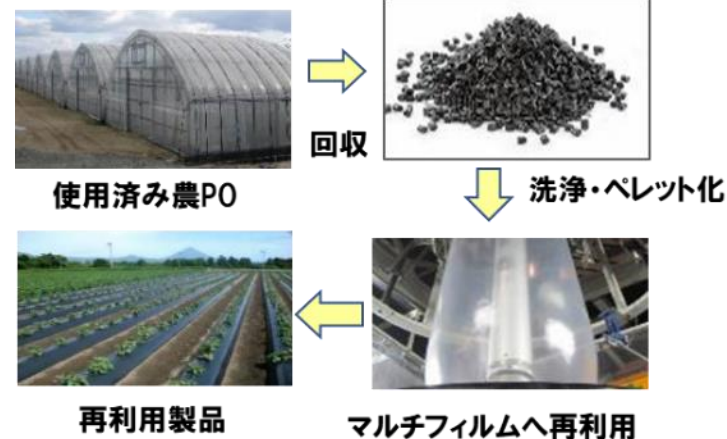
＜建材事業＞ オークラボード®

オークラボードは、建築解体材等の**木質廃材を原料**としており、**森林保護**に大きく寄与しています。



＜合成樹脂事業＞

フィルム廃棄物のリサイクルシステムの構築に取り組んでいます。





環境

11 住み続けられる
まちづくりを12 つくる責任
つかう責任13 気候変動に
具体的な対策を14 海の豊かさを
守ろう15 陸の豊かさも
守ろう

【環境貢献製品】

<合成樹脂事業> エコローム[®]

エコロームは、**生分解性プラスチック**であり、土壌で分解され、廃棄物が発生しません。



<合成樹脂事業> エコラップ[®]G/BSS-V2

エコラップG/BSS-V2は、高性能バリアシユリンクフィルムであり、ガス充填を行うことで**食品の賞味期限を延長**することができ、**フードロス削減**に貢献しています。



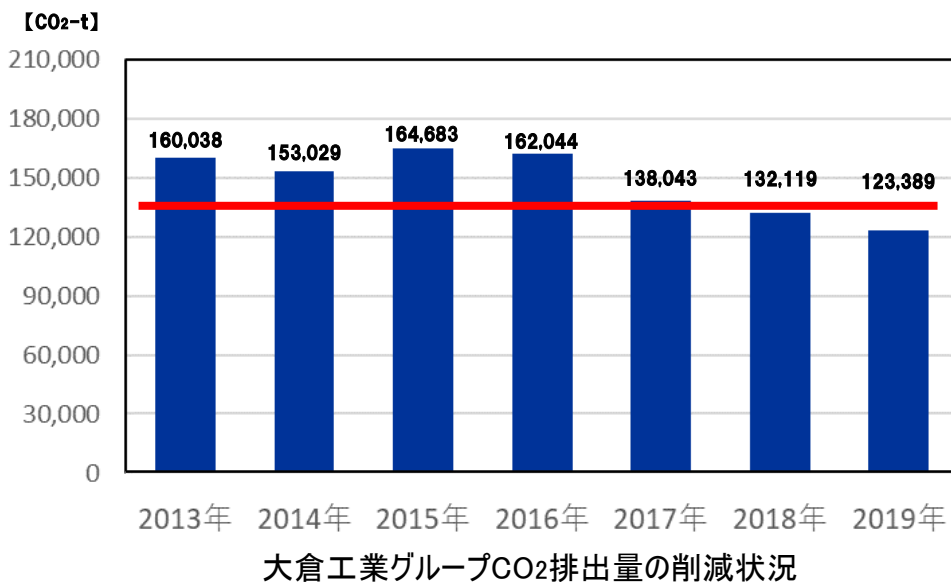
2020年 芦原科学賞大賞を受賞

E 環境



【脱炭素経営の推進】

CO₂排出量ゼロに向けて



2030年CO₂排出量
削減目標の見直し

2021年CO₂排出量削減目標
137,600t/年(2013年比▲14%)

再生可能エネルギー(太陽光発電)の導入をはじめとしたカーボンニュートラルを進めていきます。

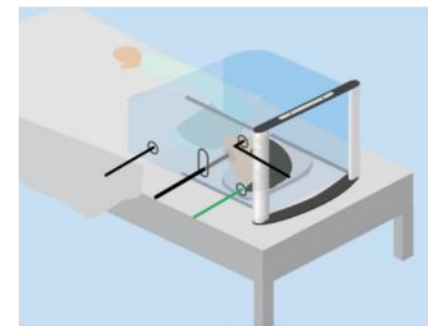



【社会への貢献】

＜新型コロナウイルス対策製品＞

内視鏡用ウイルス感染防御システム「Endo barrier」

「飛沫感染防止フィルム」と「フレーム」のセットで、被覆フィルム空間内を陰圧化し、飛沫拡散防ぎます。



簡易フェイスシールド

顔全面をカバーすることができ、使い捨てのため衛生的です。マスクに装着できるので、シールドに触らずマスクごと外して廃棄することができます。

医療用プラスチックガウン

医療従事者が着用する医療ガウン不足への対応として、40万枚を厚生労働省に納品しました。

使い捨て式で医療従事者の感染リスクを低減します。



ご清聴ありがとうございました

参考資料

6

創業の意義 【創業者 松田 正二】

高松、倉敷飛行機勤務時に終戦を迎え、80数名の従業員の生活を守ることと、戦後社会の復興と人々の役立つ為に事業を起こす

世の為 = 社会に役立つ
人の為 = 従業員を守り、人々に役立つ
 復興に不可欠な住宅とその材料販売で創業



高松製材所の風景

1945	岡内製材所として製材・小型の復興住宅を販売
1947	四国住宅株式会社を設立 ⇒ 創立記念日
1949	高松(東浜町)にて木材市売りを開始
1951	四国実業株式会社に商号変更 倉敷ビニロンを発売
1952	丸亀(城西町)にて木材市売りを開始※
1955	ポリエチレン加工に着目し製造装置を購入



木材市売の四国住宅の頃

国内に原料メーカーが無い中で、ポリエチレンフィルムの将来性に着目

当該事業の開始を機に社名(商号)変更

長年勤務しお世話になった倉敷紡績と大原社長から一字ずつ戴く

倉敷紡績 社長

大原 総一郎氏

倉 敷紡績株式会社



高松本社ビル

- | | |
|------|---|
| 1955 | 【全体】大倉工業株式会社に商号変更 |
| 1956 | 【合成】ポリエチレンフィルム本格生産(港町) |
| 1959 | 【合成】東京工場操業開始
その後、大阪工場、福岡工場を立て続けに建設 |
| 1962 | 【全体】大阪証券取引所第2部市場に株式上場
【合成】本社工場操業開始
【建材】ラワン合板事業に進出 |
| 1964 | 【合成】岡山工場、熊本工場、静岡工場を建設
【建材】プリント合板製造開始 |
| 1967 | 【合成】埼玉工場操業開始 |



本社工場構内



- 1968 【建材】詫間工場操業開始、【他】冷凍倉庫事業開始
- 1970 【全体】東京・大阪両証券取引所第1部市場に株式上場
- 1971 【建材】パーティクルボード製造開始
- 1972 【全体】本社を香川県丸亀市に移転
- 1973 【他】四国初のマンション(大倉マンション)建設
「オークラホテル高松」をオープン
- 1977 【合成】丸亀第四工場操業開始
- 1987 新規材料事業部を新設
- 1988 【他】「オークラホテル丸亀」がオープン
- 1992 オークラ情報システム(株)設立
【合成】製版会社(株)ユニオングラビア設立
丸亀第五工場操業開始
- 1995 中国に「無錫大倉包装材料有限公司」を設立
【合成】仲南工場操業開始
- 1996 【建材】詫間工場で爆発事故



オークラホテル丸亀



新規材料事業部(A棟)



液晶ディスプレイ用光学フィルムの事業拡大

2000	【新規】 光学フィルム工場C棟創業開始 偏光板事業「オー・エル・エス(有)」を設立
2001	【合成】 福岡・熊本の2工場を統合し九州工場操業開始
2004	【新規】 光学フィルム工場D棟創業開始 【合成】 「(株)九州オークラ」を設立
2006	【合成】 「(株)OKプロダクツ岡山」、 「(株)オークラプロダクツ香川」を設立
2007	R & Dセンターを新設 【合成】 「(株)関西オークラ」、「(株)関東オークラ」を設立
2009	【他】 「(株)オークラプレカットシステム」を設立



新規材料事業部(C棟)



新規材料事業部(D棟)

経営品質を高め、技術優位な企業へ

経営基盤を強化し、要素技術を進化させる

2012	【合成】「尤妮佳包装材料(天津)有限公司」を設立 【建材】パーティクルボードJIS認証取り消し
2013	第四次中期経営計画スタート JIS認定再取得
2014	【新規】仲南G棟操業開始 オー・エル・エス新ライン増設 【合成】関西オークラ新工場(第3工場)操業開始
2015	【建材】「パワーホーム香川(株)」を設立
2016	第五次中期経営計画スタート 監査等委員会設置会社に移行
2017	会社創立70周年
2018	代表取締役交代



新規材料事業部(仲南G棟)
10.5世代パネル対応の
最新工場



関西オークラ(第3工場)

参考資料 事業紹介

合成樹脂事業

パッケージングBU

シュリンクフィルム

中間物流用の重量物包装や集積包装、食品を直接包装するものなど、オリジナルのデザインや形状を生かしたまま、商品をより美しく安全に包み込む。用途に応じた独自の機能を付与すると共に、印刷などの二次加工や包装システムなどを提案。

軟包材

ナイロン・ポリエステル・ポリエチレンなどのさまざまなフィルムを貼り合わせることで、それぞれの特性を活かした機能的な複合フィルムのこと。冷凍食品の包装やIC基盤の保護用フィルム、詰め替え用のスパウト付きラミネート袋など、身近なところから最先端の電子材料にまで幅広く提供。

リキッドパック

液体包装容器の総称であり、段ボール箱内で使用されるバッグインボックスとドラム缶内で使用されるバッグインドラムに大別される。醤油などの食料品や化学薬品などの液体輸送の合理化に寄与。

【用途例】

乳酸菌飲料集積用、カップ麺、酒パック等の包装フィルム、食品トレイ包装用バリアフィルム



【用途例】

食品、洗剤、柔軟剤、シャンプー、ペットフード、お菓子等



【用途例】

ミネラルウォーター、油脂加工製品、調味液（醤油、ソース等）、液体肥料、液体洗剤、接着剤



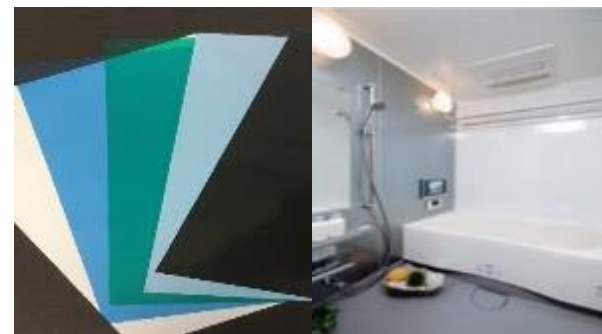
合成樹脂事業

産業機能材BU

電子・エネルギー・住宅・メディカルなど様々な分野の主材や基材を提供。液晶パネルに使用される位相差フィルムの保護用フィルムなど、独自の樹脂ブレンドノウハウ・高い製膜技術・徹底した品質管理で最適なソリューションを提供。

【用途例】

光学、電子、電気製品、自動車、ユニットバス壁面、ドア・クローゼット・床などの建築材など



一般包材BU

規格袋・ごみ袋・包装/梱包荷材など、各種既製品はもとより、食品・衛生材料・家庭紙・日用雑貨・産業資材・医薬・洗剤・化粧品・印刷出版物など幅広い分野で製品の包装に使われているポリエチレンフィルムを提供。

【用途例】

規格袋、日用品、食品用パッケージフィルム、衛生材料用フィルム



アグリマテリアルBU

農業用の機能性フィルムであり、全国の農家から親しまれている製品。農作業の省力化と作物の収穫増のために、保温・地温上昇抑制・害虫忌避・抗菌・生分解といったさまざまな機能を持つ製品をラインアップ。

【用途例】

農業用フィルム、肥料の保存



新規材料事業

第1BU(機能材料)

TPUチーム(ウレタンフィルム)

機械的・化学的・電氣的等著しい機能を持つウレタンやフッ素系等の単層、多層フィルムをメディカル分野や自動車部品メーカー等に提供。

【用途例】
創傷用被覆保護ドレッシング
プリント接着用シート
印刷転写用シート
ヘッドレスト
ペイントプロテクションフィルム



BLTチーム(シームレスベルト・樹脂被覆ローラ)

プリンター等の画像情報機器に必要な電子機能を持つベルトやチューブをプリンター・複写機メーカーに提供。

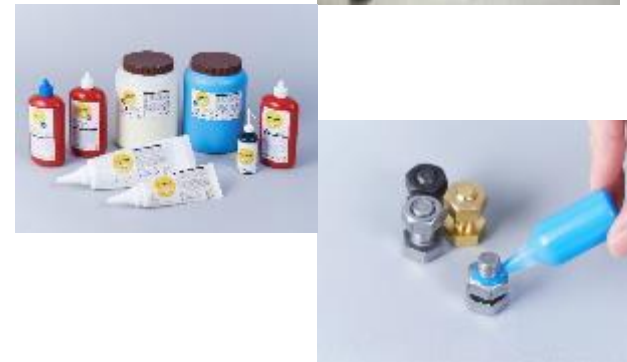
【製品種類】
LBP用中間転写ベルト
クリーニングローラ
転写ローラ



ADHチーム(アクリル接着剤)

3タイプの硬化機構の無溶剤型アクリル接着剤を車輻・電気・鋼板・鋳型模型からゴルフクラブまで幅広い市場に提供。

【用途例】
モーターマグネット(電気自動車部品)
塗装鋼板
ゴルフクラブ
鋳型模型

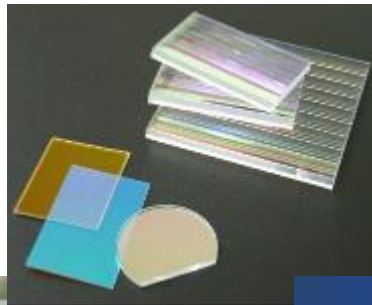
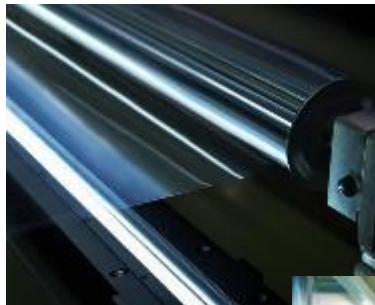


新規材料事業

第2BU(電子材料-加工)、第3BU(光学材料-製膜延伸)

MNTチーム、KEチーム、PLMチーム、CTチーム、MCSTRチーム

大型から中小型サイズの液晶ディスプレイを始め、タッチパネルや液晶プロジェクター等、電子表示体のキーマテリアルとなる各種光学機能性フィルムをFPDメーカー等に提供。



建材事業

パーティクルボード(素板)

木質廃材を細かくしたチップに接着剤などを混ぜた原料を高温でプレスし固めたパーティクルボード。
木質廃材を焼却せず製品としてリサイクルしており、二酸化炭素の排出を抑制し、地球温暖化の防止に寄与。

【用途例】
キッチン、家具
フロア
構造用耐力面材



住環境

当社のパーティクルボードなどにシートを貼った製品で、住設機器等の部材提供及び棚板、フロア等として住宅メーカー等に提供。

【用途例】
フロア、棚板等のパーティクルボード二次加工品



その他関連事業

ホテル事業:オークラホテル株式会社

香川県丸亀市に本社があり、オークラホテル丸亀を営業。オークラホテル丸亀は瀬戸内海を一望する最高のロケーションでビジネスや観光の拠点に便利な立地。



情報処理事業:オークラ情報システム株式会社

香川県丸亀市に本社があり、ソフトウェア開発やコンピュータシステムの運用、保守パッケージソフトの製造・販売、コンピュータ機器販売を手掛けている。ニーズを拾い上げ、形にするまでトータルでサポート。



住宅事業:株式会社オークラハウス

香川県丸亀市に本社があり、県内の新築、リフォームを手掛る。エネルギー収支ゼロを目指したゼロ・エネルギー住宅や国土交通省が定めた耐震性能最高等級「耐震等級3」相当で建てるなど、快適に安心して長く住んでもらう住宅を提供。



プレカット事業:株式会社オークラプレカットシステム

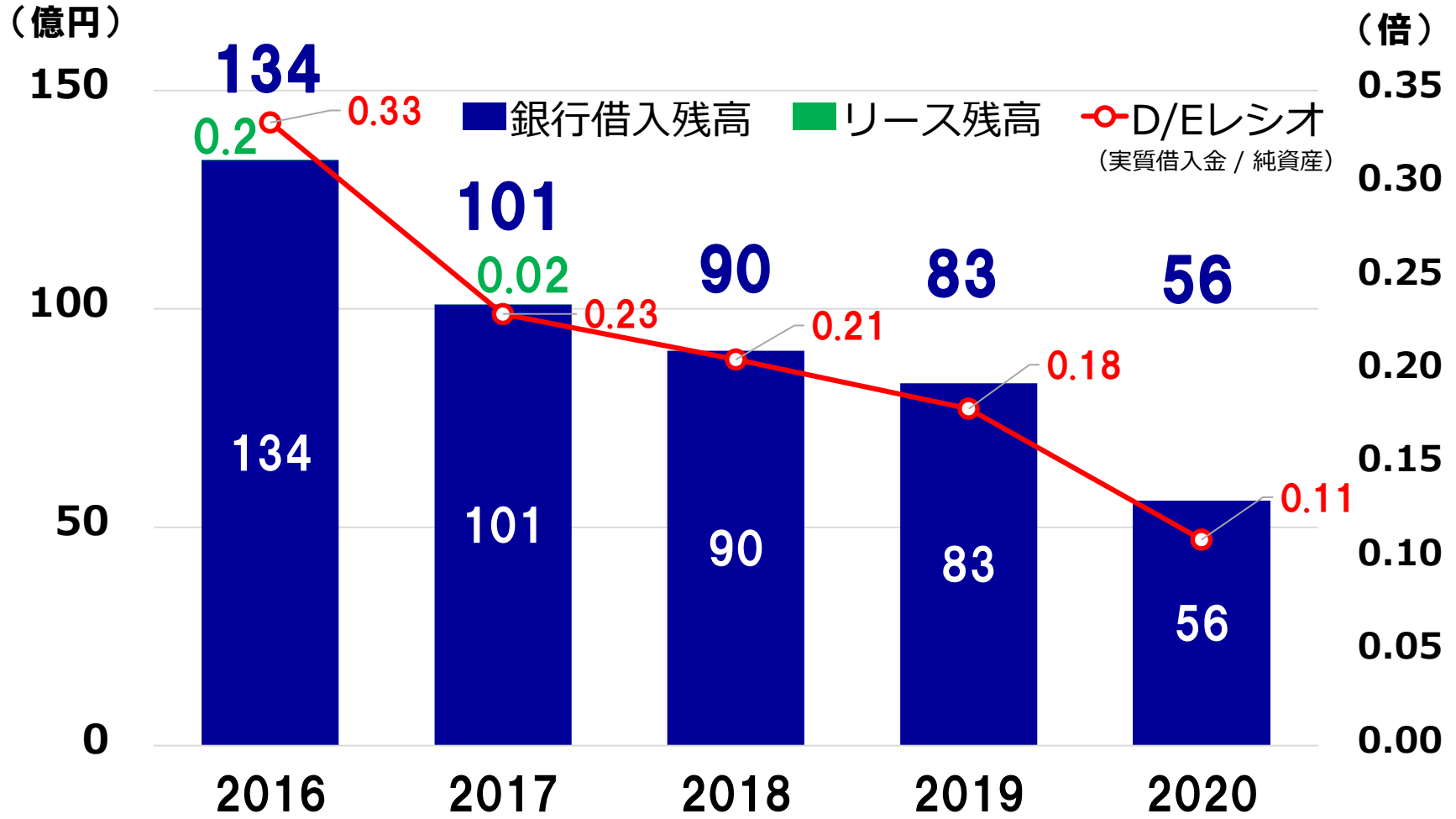
香川県丸亀市に本社があり、木造建屋宅用構造材加工（プレカット加工）および木造建屋用資材（建築金物・基礎素材等）の仕入販売を行っている。よりよい家を作るために、数々の建築データを基に、安全に現場での作業を迅速に行えるプレカットされた木材を、日々作り続けている。



参考資料
2020年12月期決算



06-3 実質借入金残高



参考資料
2021年12月期業績予想



(億円)

	設 備 投 資		減 価 償 却 費	
	2020年 実 績	2021年 予 想	2020年 実 績	2021年 予 想
合 成 樹 脂 事 業	23.1	23.5	28.0	25.0
新 規 材 料 事 業	5.1	12.0	10.7	12.0
建 材 事 業	4.0	3.0	3.7	3.0
そ の 他 関 連 事 業	2.2	1.5	4.1	3.5
全 社	2.3	6.0	1.7	2.5
連 結 合 計	36.9	46.0	48.3	46.0



【製品別売上高】

(百万円)

	2021年予想	前年比
パッケージングBU	18,191	+1.8%
シュリンクフィルム	9,171	+1.1%
軟包材	7,370	+2.8%
リキッドパック	1,649	+1.1%
産業機能材BU	5,625	+2.9%
一般包材BU	17,998	+0.1%
アグリマテリアルBU	4,533	+1.1%
その他	650	△6.2%
合計	47,000	+1.1%



【BU別売上高】

(百万円)

	2021年予想	前年比
第1BU(機能材料)	2,200	+1.3%
第2BU(電子材料-加工)	8,400	△33.1%
第3BU(光学材料-製膜延伸)	8,200	+30.7%
商 品 他	5,200	+115.2%
合 計	24,000	+2.5%



【製品別売上高】

(百万円)

	2021年予想	前年比
パーティクルボード素板	3,173	+0.6%
パーティクルボードフロア	1,651	△7.9%
住環境(建装材、商品を含む)	1,676	+28.3%
(内、パーティクルボード基材加工品)	(1,195)	(+25.0%)
合 計	6,500	+3.9%

【事業別売上高】

(百万円)

	2021年予想	前年比
ホ テ ル 事 業	657	+29.1%
情 報 処 理 事 業	1,306	+9.0%
住 宅 事 業	936	+10.0%
プ レ カ ッ ト 事 業	2,549	△4.0%
賃 貸 事 業	677	△7.6%
消 去 ・ 組 替	△1,125	—
合 計	5,000	+4.6%

参考資料

ESG推進活動

○マテリアリティに基づく活動テーマ

マテリアリティ	活動テーマ
脱炭素経営（気候変動対策）の推進	自社（工場、およびオフィス）からのCO2排出量削減
	物流（調達／出荷）の効率化とCO2排出量削減
資源循環対策の更なる推進	工場廃棄物のゼロエミッション推進
	使用後の廃資材等の回収、再資源化の促進
環境配慮型製品の創出と拡大	環境／社会貢献製品の創出の仕組み化と中長期目標設定
	海洋プラスチック問題への対応製品の採用および開発
	機能性に優れた製品の開発および販売
グリーン調達の推進	人権等に配慮した原材料調達の仕組み構築と運用
	環境に配慮した原材料調達（グリーン調達）の仕組み構築と運用
DX推進による競争優位性の確保	新しいデジタル技術の導入による生産性向上と業務改革
	営業活動およびマーケティングの高度化
	より高品質で安全性の高い製品の追求
イノベーション創出に向けた研究開発	新規事業の創出につながるマーケティングの強化
	社会・環境課題解決に貢献する研究開発への積極的な投資
	オープンイノベーションの積極的な活用



○事業基盤に基づく活動テーマ

事業基盤	活動テーマ
汚染防止の徹底	有害化学物質の適切な管理
	水資源の使用量削減と適切な管理
働きがいのある職場環境の整備	ダイバーシティ経営の推進
	働き方改革による生産性向上とワークライフバランスの推進
	健康経営の推進
	やりがいのある人事評価制度構築と人財育成制度の充実
	労働安全衛生の強化
	ハラスメントの防止
地域社会との共生	社会奉仕活動、地域環境保護活動の推進
	地域課題解決ビジネス、地域活性化ビジネスへの参画
	地域資源の積極的な利用
企業の信頼性・透明性の向上	ESG情報の積極的な開示
	ステークホルダーとの対話促進
	内部統制・コンプライアンス体制の整備
	リスクの洗い出しとBCP（事業継続計画）のブラッシュアップ

本資料に関する注意事項

本資料に掲載されている業績予想・事業計画は、当社が現時点で入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想・計画とは異なる場合がございます。

本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券の売買を勧誘することを目的としたものではありません。

OKURA

2020年12月期 決算説明資料



大倉工業株式会社

2021年2月24日

END